

令和6年度版

和歌山市の教育

和歌山市教育委員会

和歌山市民憲章

(昭和41年11月3日制定)

わたくしたちは、和歌山市民であることに誇りをもち、平和で豊かなまちをつくるため、市民の心がまえを定めます。

- 1 自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
- 2 互いにたすけあい、希望にみちたまちをつくりましょう。
- 3 きめごとを守り、人に迷惑をかけない市民になりましょう。
- 4 仕事に誇りをもち、たくましい市民になりましょう。
- 5 教養を高め、視野の広い市民になりましょう。

目 次

和歌山市の沿革・概要

和歌山市の概要	1
人口・世帯数の推移	2

教育委員会

教育振興基本計画	3
長期総合計画	6
教育委員会委員	7
事務局機構図	8
事務局・教育機関現員数	9

教育財政

教育費予算	1 0
教育費決算	1 1

学校教育

学校教育指針	1 2
主な事業の概要	1 4
教職員数	1 5
園児数・児童数・生徒数	1 7
卒業後の状況	1 8
教育研究所	1 9
少年センター	2 5
子ども支援センター	2 7
こども科学館	2 8

学校施設

学校施設主要事業の概要	3 4
市立小学校	3 5
市立中学校・義務教育学校・ 幼稚園・高等学校	3 6

学校保健・学校給食

学校保健	3 7
学校安全	3 9
学校給食	4 3

体育・スポーツ

学校体育	4 6
社会体育	4 8

社会教育

社会教育	5 1
主な事業一覧	5 3

生涯学習

生涯学習	5 8
公民館振興	5 9

図書館

市民図書館	6 2
-------	-----

教育委員会所管施設

コミュニティセンター	6 5
市立青少年国際交流センター	7 2

資料

歴代の教育委員・教育長	7 4
社会教育委員	7 6
関係機関団体	7 6
同和教育方針	7 7
教育委員会沿革	7 8
市立小学校所在図	8 4
市立中学校所在図	8 5

和歌山市の沿革・概要



和歌山市は紀伊半島の西北端にあって、西は風光明媚な紀淡海峡に面し、北はみどり豊かな和泉山脈ののどかな山並みに囲まれ、紀の川の河口に位置する和歌山県の県都です。

古来から、紀の川河口に位置するこの地は、外洋船舶交通と紀の川を利用した内陸河川交通の結節点として、繁華な湊町を形成していました。中世には、この地は「雑賀」と呼ばれ、雑賀衆と呼ばれる土豪たちの活躍の場でした。

天正13年（1585）、全国統一を目指す豊臣秀吉はこの地に攻め込むと、吹上の峰に城を築き、紀伊国を弟の秀長に与えました。城の名は、『万葉集』に詠われた「和歌浦」に対し、山の上に築いたことから「和歌山城」と名付けました。以後、この地は、和歌山城の城下町として発展しました。

慶長5年（1600）、関ヶ原の戦いに勝利した徳川家康は、浅野幸長に紀伊国を与えますが、豊臣家滅亡後の元和5年（1619）には、第十子徳川頼宣を領主としました。以後、江戸時代を通じて和歌山の町は、徳川御三家紀州藩55万5000石の城下町として整備され、全国屈指の都市として栄えました。

明治22年（1889）、全国39の都市とともに市制が施行され近代化が進むと、紀の川の広大な平野と京阪神の大市場をひかえるという地理的好条件に恵まれ、綿ネル・メリヤス・捺染・木工・皮革・酒造などの地場産業が発展しました。また、「ぶらくり丁」などの商店街が近代都市の消費を支えるようになりました。さらに、和歌浦・紀三井寺などの名勝を擁するため、観光地としても発展しました。

昭和20年（1945）、和歌山市大空襲で市街地の約7割が焦土と化しましたが、市民の不断の努力と英知により、急速な復興を遂げ、近代都市として発展を続けています。

平成元年（1989）には、記念すべき「市制施行100周年」を迎えました。これを契機に、明治―大正―昭和―平成と移り変わってきた時代を振り返りながら、先人たちの英知と労苦を偲びつつ、さらに和歌山地の飛躍のため、新しい「まちづくり」が進められています。

また、和歌山市は平成9年（1997）4月に「中核市」に移行しました。中核市とは、経済・産業・文化・教育の面において、近隣市町村の交流拠点であることが前提となっています。中核市は、様々な意味において「港」となりえる都市でなくてはなりません。今後、多くの人が集い、文化や経済の交流が和歌山市を中心に進んでいくことでしょう。

(令和6年4月1日現在)

和歌山市の人口	345,973 人
世帯数	158,772 世帯
面積	208.85 km ²

人口・世帯数の推移

(各年4月1日現在)

区 分 年	世 帯 数	人 口			一 世 帯 当 た り 人 員
		男	女	計	
平成元年	130,455	190,269	207,993	398,262	3.05
18	145,617	175,762	198,065	373,827	2.57
19	147,050	174,815	197,392	372,207	2.53
20	148,603	174,070	196,918	370,988	2.50
21	149,975	173,495	196,456	370,988	2.47
22	151,142	172,900	195,956	368,856	2.44
23	152,611	173,150	195,596	368,746	2.41
24	153,514	172,450	195,141	367,591	2.39
25	154,461	171,584	194,319	365,903	2.37
26	155,509	171,025	193,585	364,610	2.34
27	156,131	170,062	192,539	362,601	2.32
28	153,113	170,335	192,181	362,516	2.37
29	153,481	169,020	190,959	359,979	2.35
30	153,894	167,968	189,914	357,882	2.33
31	154,857	167,113	188,952	356,065	2.30
令和2年	155,693	166,042	188,000	354,042	2.27
3	158,030	167,109	188,112	355,221	2.25
4	158,111	165,814	186,602	352,416	2.23
5	158,426	164,164	184,880	349,044	2.20
6	158,772	162,623	183,350	345,973	2.18

教 育 委 員 会

1 第3次和歌山市教育振興基本計画（2024年度～2028年度）

基本理念

ともに学び ともに支えあい 未来につながる教育

教育の根幹は『人づくり』であり、その『人づくり』の基盤となるものは、学校だけでなく、家庭や地域を含めた社会全体と考えます。そこで、子供だけでなく、子供たちと共に過ごす家庭や地域の方々も一緒に学べる環境をつくり、地域のつながりをより強くします。また、様々な知識や経験を持った方々が結びつき、支えあうことによって、地域における課題解決や地域の発展につながることでできる社会をつくりまします。

これらの取組を通して、社会全体で将来の和歌山市を創造できる人を育てる教育をめざし、これを基本理念とします。

めざす人間像

○ 自ら考え、判断し、表現する力を持ち、規律ある行動をする人間

変化の激しい現代を生きていくために、基礎的な学力はもちろん、自ら考え、判断し、表現する力を身に付けた上で、社会の一員としての自覚を持って規律ある行動をとることのできる人間の育成をめざします。

○ 人権を尊重し、情操豊かにたくましく生きる人間

いじめや暴力などの問題行動をなくすために、生きることの尊さを理解し、自他の生命を大切にする心を育みます。また、様々な人権問題を正しく理解し、互いの立場を理解し、よりよい人間関係を築ける人間の育成をめざします。

○ 郷土を愛し、よりよい社会の形成者となる人間

自ら育った地域の歴史や文化のよさを知り、郷土を愛する心を育みます。また、ふるさと和歌山の地域の一員として、主体的に社会に貢献できる人間の育成をめざします。

基本方針

I 社会を生き抜く子供たちの学力の育成

- ・ 確かな学力を育む教育の推進
- ・ 国内外の多様な分野で活躍できる人材を育む教育の推進

子供たちが毎日をいきいきと過ごせるよう、また、将来の夢や目標を実現するために必要な「確かな学力」を身に付けられるよう、信頼と期待に応える学校づくりに取り組みます。

さらに、日々変化していく情勢、国際化やデジタル化が進む社会に対応できるよう、学力の向上だけでなく、個々の資質・能力を伸ばし、自らが社会の創り手となり、たくましく生き抜く力を育みます。

II 生涯を通じた豊かな心と健やかな体の育成

- ・豊かな心を育む教育の推進
- ・健やかな体を育む教育の推進
- ・人権を尊重する社会を築くための教育の推進

人権・同和教育や道徳教育を推進し、体験活動を充実させることで、子供たちの豊かな心を育みます。また、子供たちの体力向上や健康の保持増進を通して、生涯にわたって健康で安全に生活できるような健やかな体の育成に取り組みます。

III 安全・安心な教育環境の整備

教育や学習方法の多様化に対応した施設、設備の充実を図るとともに、安心・快適に過ごせるように教育環境の整備や充実を図ります。また、校外においても、安全に過ごせるよう、地域や家庭、関係機関と連携して、子供たちを見守る環境づくりを推進します。

IV 家庭や地域における教育力の向上

子供たちが基本的な生活習慣や自立心を身に付けるように、家庭での教育力の充実を図ります。

また、地域における社会教育の拡充を支援し、学校・家庭・地域の一層の連携を図ることで青少年の健全育成に努めます。

V 郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進

- ・生涯学習の推進
- ・芸術・文化の振興
- ・文化財の保護・活用
- ・スポーツの振興

地域の拠点となるコミュニティセンターを中心に、生涯学習環境の整備、充実を図るとともに、生涯を通じて文化・スポーツ活動に親しめるよう、環境や機会の充実を図ります。

計画の体系

基本方針	基本目標	基本施策
Ⅰ 社会を生き抜く 子供たちの学力の育成	1 確かな学力を育む 教育の推進	1-1 教育課程の充実と学力の向上 1-2 信頼と期待に応える学校づくりの推進 1-3 学校の組織力と教職員の指導力向上
	2 国内外の多様な分野で 活躍できる人材を育む 教育の推進	2-1 国際化に対応した教育の推進 2-2 教育の情報化及び教育DXの推進 2-3 持続可能な社会の創り手の育成 2-4 高等教育機関との連携強化
Ⅱ 生涯を通じた豊かな心 と健やかな体の育成	3 豊かな心を育む 教育の推進	3-1 道徳教育の充実 3-2 郷土を愛するふるさと教育の推進 3-3 文化芸術教育の充実
	4 健やかな体を育む 教育の推進	4-1 体力の向上 4-2 健康教育の充実 4-3 学校給食・食育の充実
	5 人権を尊重する社会を築く ための教育の推進	5-1 人権・同和教育の充実
Ⅲ 安全・安心な 教育環境の整備	6 安全・安心な 教育環境の整備	6-1 子供たちの安全の確保 6-2 学校教育環境の整備 6-3 学校における働き方改革の推進 6-4 学校適正規模化の推進
Ⅳ 家庭や地域における 教育力の向上	7 家庭や地域における 教育力の向上	7-1 家庭における教育力の充実 7-2 地域における教育力の充実
Ⅴ 郷土に誇り と愛着を育む 文化・スポーツの振興 と生涯学習の推進	8 生涯学習の推進	8-1 生涯学習の啓発と機会の提供 8-2 生涯学習の場の整備・充実
	9 芸術・文化の振興	9-1 芸術・文化活動の推進 9-2 芸術・文化活動環境の整備・充実
	10 文化財の保護・活用	10-1 文化財の保護 10-2 文化財の活用
	11 スポーツの振興	11-1 生涯スポーツの振興 11-2 地域スポーツ資源を生かしたスポーツの振興

「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に規定される「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」（以下、「点検及び評価」という。）を毎年実施しています。そして、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しています。

「点検及び評価」の結果は、事務事業の見直しにいかされています。

2 和歌山市長期総合計画における教育分野の計画等について

和歌山市では、2017年度から2026年度を対象期間とする「第5次和歌山市長期総合計画」に基づいて、「きらり 輝く 元気和歌山市」を目指したまちづくりを進めています。そのうち、教育関連分野については、目標を「子供たちがいきいきと育つまち」とし、この目標を実現させるために5つの政策を定めて取り組んでいます。

目標「子供たちがいきいきと育つまち」

安心して結婚・妊娠・出産・子育てができる環境が整い、人々はそれぞれの希望に応じて子供を産み育てられる子育て環境が実現しています。

子供たちは、恵まれた教育環境のもとで、ふるさとへの愛着を持ちながら、社会でたくましく生き、活躍できる力を身に付けているとともに、家庭や地域との連携により、豊かな心と健やかな体が生まれ、のびのびと成長しています。

政策1 安心して子供を産み育てることのできる環境の整備

子育ての不安感や負担感を軽減・解消し、安心して子供を産み育てられるよう、家庭・地域・学校・事業所・行政すべてが連携・協働しながら、子供たち一人ひとりの成長を支えることができる環境づくりをめざします。

政策2 社会を生き抜く子供たちの学力の育成

子供たちが毎日をいきいきと過ごせるよう、また、将来の夢や目標を実現するために必要な「確かな学力」を身に付けられるよう、信頼と期待に応える学校づくりに取り組みます。

さらに、日々変化していく情勢や国際化社会に対応できるよう、学力の向上だけでなく、資質や能力、個性を伸ばし、たくましく生き抜く力を育みます。

政策3 生涯を通じた豊かな心と健やかな体の育成

人権・同和教育や道徳教育を推進し、体験活動を充実させることで、子供たちの豊かな心を育みます。

また、子供たちの体力向上や健康の保持増進を通して、生涯にわたって健康で安全に生活できるような健やかな体の育成に取り組みます。

政策4 安全・安心な教育環境の整備

教育や学習方法の多様化に対応した施設、設備の充実を図るとともに、安心・快適に過ごせるように教育環境の整備や充実を図ります。

また、校外においても、安全に過ごせるよう、地域や家庭、関係機関と連携して、子供たちを見守る環境づくりを推進します。

政策5 家庭や地域における教育力の向上

子供たちが基本的な生活習慣や自立心を身に付けられるように、家庭での教育力の充実を図ります。

また、地域における社会教育の拡充を支援し、学校・家庭・地域の一層の連携を図ることで青少年の健全育成に努めます。

3 教育委員会委員



阿形 教育長



藤本 委員



森崎 委員



波床 委員



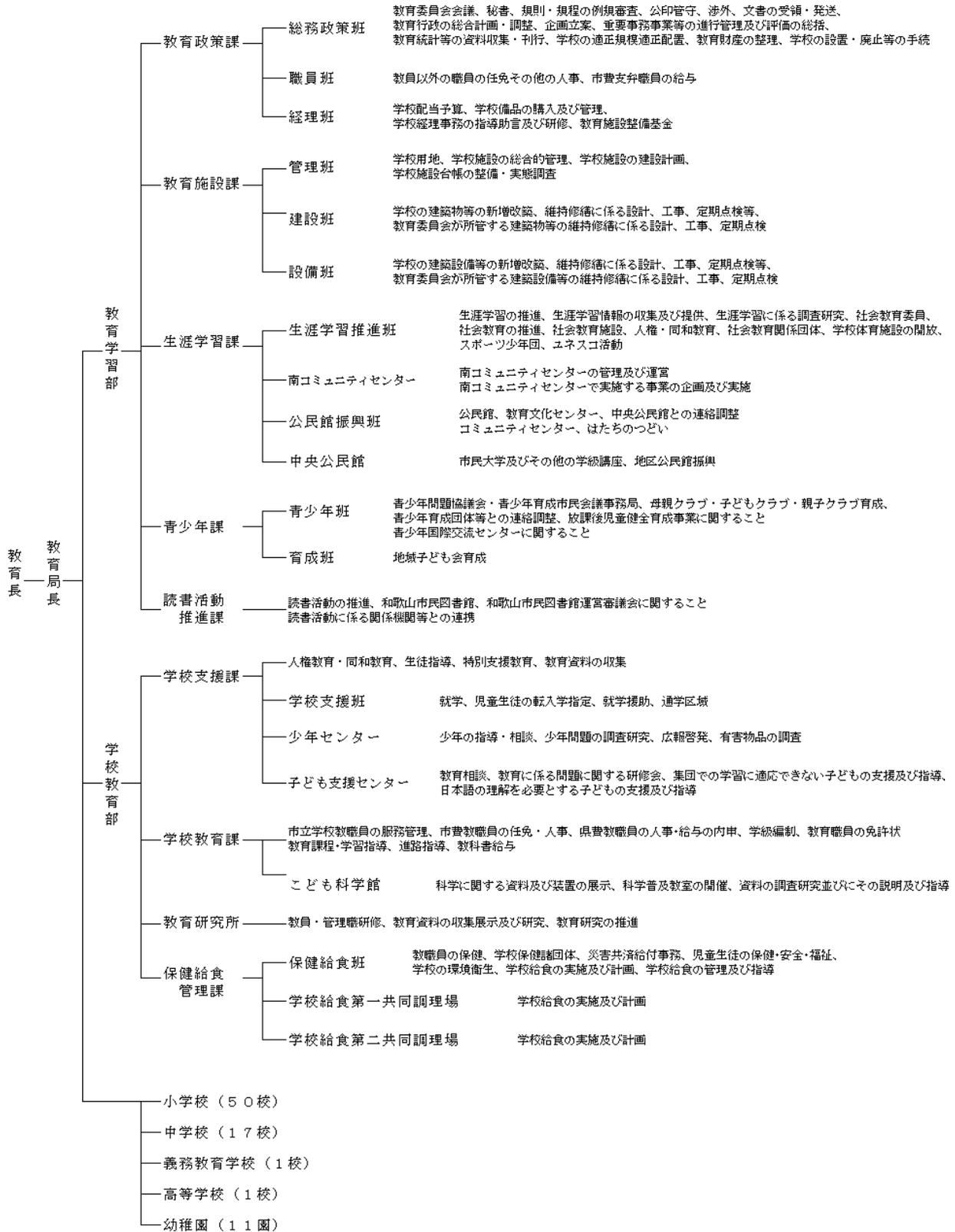
石元 委員

(令和6年4月1日現在)

役職名	氏名	任期期間	就任年月日
教育長	阿形 博司 <small>あがた ひろし</small>	令和4年10月3日～令和7年10月2日	令和3年2月27日
教育長 職務代行者	藤本 禎男 <small>ふじもと きたお</small>	令和2年10月1日～令和6年9月30日	平成28年10月1日
委員	森崎 陽子 <small>もりさき ようこ</small>	令和5年3月29日～令和9年3月28日	平成28年12月15日
委員	波床 昌則 <small>はとこ まさのり</small>	令和3年10月22日～令和7年10月21日	平成29年10月22日
委員	石元 和代 <small>いしもと かずよ</small>	令和4年12月28日～令和8年12月27日	令和4年12月28日

4 事務局機構図

(令和6年4月1日現在)



5 事務局・教育機関現員数（市費職員）

（令和6年4月1日現在）

	局 長	部 長	課 長	副 課 長	班 長	そ の 他	校 （ 園 ） 長	教 頭	教 諭	合 計	一 般 事 務	一 般 技 術	用 務 員	調 理 員	専 門 教 育	教 員
教育委員会事務局	1									1	1					
教育学習部		1								1	1					
教育政策課			1	1	10	14				26	22	1	1	2		
教育施設課			1	1	4	24				30	3	27				
生涯学習課			1	1	3	7				12	11	1				
南コミュニティセンター						2				2	2					
青少年課			1	1	5	22				29	29					
読書活動推進課			1		2	4				7	7					
教育学習部計	0	1	5	4	24	73	0	0	0	107	75	29	1	2	0	0
学校教育部		1								1	1					
学校支援課			1	6	4	2				13	7				6	
少年センター				2	1					3	1				2	
子ども支援センター				1	2	1				4	1	1			2	
学校教育課			2	12	2	1				17	3				14	
こども科学館					1	2				3	1				2	
教育研究所			1	3	2					6	2				4	
保健給食管理課			1	2	3	8				14	11	2			1	
第一共同調理場										0						
第二共同調理場					1					1	1					
学校教育部計	0	1	5	26	16	14	0	0	0	62	28	3	0	0	31	0
委員会+2部	1	2	10	30	40	87	0	0	0	170	104	32	1	2	31	0
小学校						46				46			11	35		
中学校						7				7			7			
義務教育学校						1				1			1			
高等学校			1		2	1	1	1	51	57	4					53
幼稚園							3	9	24	36						36
学校計	0	0	1	0	2	55	4	10	75	147	4	0	19	35	0	89
合計	1	2	11	30	42	142	4	10	75	317	108	32	20	37	31	89

教育財政

1 教育費予算

ア 一般会計の中での教育費の割合

	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	予算額	前年度比	予算額	前年度比	予算額	前年度比
一般会計総額 (A)	150,230,390	1.02	147,265,787	1.02	144,105,428	1.00
教育費 (B)	10,403,801	1.14	9,105,947	1.06	8,589,730	0.98
B / A (%)	6.9		6.2		6.0	

イ 目的別構成表

	令和6年度			令和5年度			令和4年度		
	予算額	構成比	前年度比	予算額	構成比	前年度比	予算額	構成比	前年度比
教育総務費	2,128,776	20.5	1.06	2,003,368	22.0	0.94	2,120,171	24.7	1.09
小学校費	2,896,344	27.8	1.19	2,440,679	26.8	1.20	2,030,977	23.7	0.82
中学校費	753,622	7.2	0.88	852,977	9.4	1.15	742,307	8.6	0.94
高等学校費	659,086	6.3	1.04	634,931	7.0	0.97	652,322	7.6	1.03
幼稚園費	472,742	4.6	0.98	480,181	5.3	0.99	483,960	5.6	1.00
社会教育費	2,767,827	26.6	1.29	2,153,618	23.6	1.06	2,025,592	23.6	1.08
保健体育費	725,404	7.0	1.34	540,193	5.9	1.01	534,401	6.2	1.02

ウ 性質別構成表

	令和6年度			令和5年度			令和4年度		
	予算額	構成比	前年度比	予算額	構成比	前年度比	予算額	構成比	前年度比
人件費	3,756,348	36.1	1.06	3,545,073	38.9	0.95	3,739,643	43.5	1.03
物件費	4,121,517	39.6	0.92	4,470,894	49.1	1.18	3,798,092	44.2	1.00
維持補修費	145,563	1.4	1.23	118,244	1.3	0.95	123,886	1.4	1.00
扶助費	228,311	2.2	0.63	361,353	4.0	1.01	359,223	4.2	1.01
補助費等	904,746	8.7	3.58	252,866	2.8	1.42	177,552	2.1	1.01
建設事業費 (補助業)	728,653	7.0	-	0	0.0	-	51,026	0.6	0.50
建設事業費 (単独)	518,588	5.0	1.45	357,442	3.9	1.05	340,233	4.0	0.64
積立金	75	0.0	1.00	75	0.0	1.00	75	0.0	0.99

2 教育費決算

ア 一般会計の中での教育費の割合

	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	決算額	前年度比	決算額	前年度比	決算額	前年度比
一般会計総額 (A)	163,942,192	0.97	169,261,176	0.88	191,846,728	1.19
教育費 (B)	10,449,288	1.12	9,290,980	0.77	12,031,708	0.91
B / A (%)	6.4		5.5		6.3	

イ 各項別決算状況

	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	決算額	前年度比	決算額	前年度比	決算額	前年度比
教育総務費	2,044,242	1.12	1,821,206	0.48	3,767,331	1.99
小学校費	3,556,142	1.20	2,960,472	1.05	2,811,660	0.68
中学校費	1,100,671	1.33	826,405	0.60	1,385,392	0.71
高等学校費	632,430	0.98	643,386	0.91	707,056	1.05
幼稚園費	506,235	1.07	472,860	0.94	502,265	0.91
社会教育費	2,065,877	1.00	2,061,679	0.87	2,365,805	0.69
保健体育費	543,691	1.08	504,972	1.03	492,199	0.98

学 校 教 育

学校教育指針

学校教育は、人間尊重の精神を基調とし、生涯学習の基盤を培うとともに、国際的な視野に立って、持続可能な社会の創り手となる子供に「生きる力」を育むという重大な使命をもっている。

学校教育に携わる者は、教育に関わる諸々の実態を踏まえ、家庭・地域との連携を図り、確かな見通しをもち、温かい心で子供に接し、豊かな心を育て、個性を生かし、一人一人の資質・能力を伸ばすよう努めることが大切である。

また、教育の質的向上を図るため、教育公務員としての自覚のもと、広く英知を結集し、識見と力量を高める研修が一層必要である。

学校は、校園長の強いリーダーシップのもと、全教職員が一丸となり、充実した活力ある子供の主体性を重んじた教育実践を積極的に進めるとともに、「社会に開かれた教育課程」を実現し、市民の信頼と期待に応えるよう努めなければならない。

本年度の重点課題

- ・ 確かな学力の育成
- ・ 道徳教育の充実
- ・ 健やかな体の育成
- ・ 特別支援教育の充実
- ・ 不登校・いじめ問題の解消
- ・ 子供の安全確保の徹底
- ・ 地域とともにある学校づくりの推進

1 学校教育の重点

(1) 「生きる力」を育む教育実践を充実する

- ア 知・徳・体の調和のとれた子供の育成に努め、温かい人間関係を醸成し、命の尊厳を体得するように指導する。
- イ 学習習慣の定着を図り、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を徹底するとともに、それらを生かし、自ら課題を見つけ、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解

決する資質・能力等を含めた確かな学力の育成を図る。

ウ 言語活動など学習の基盤をつくる活動を充実する。

エ 個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努める。

オ 1人1台端末を活用し、情報化の進展に対応できる能力・態度の育成に努める。

カ 心豊かな道徳性を養い、たくましく生きる人間の育成を図る。

キ 伝統と文化を尊重する態度を養うとともに、郷土や国を愛する心を育む。

ク 国際社会で主体的に生きる日本人としての資質・能力の基礎を培う。

ケ 食育の推進と体力の向上に努める。

コ 健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努める。

サ 生涯を通じて学び続け、社会の変化に主体的に関わることでできる能力の育成に努める。

(2) 信頼され魅力ある学校づくりを推進する

ア 幼稚園教育要領、学習指導要領の趣旨を踏まえ、教育目標に即した指導理念の一体化を図り人間形成の場にふさわしい学校・学級づくりに努める。

イ 学校の教育課題を把握し、特色を生かした教育課程を編成する。

ウ 学校・家庭・地域が連携・協働し、社会に開かれた教育課程の実現を図る。

エ 生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人として健やかに成長することができる学習環境を整える。

オ 個に応じた適切な指導と必要な支援を行い、学ぶことの楽しさや達成感を得られる教育活動を展開する。

カ いじめ・不登校の未然防止や早期発見・早期対応に努め、学校全体で組織的に問題

解消に取り組む。

キ 地域の自然や文化、人材等を生かした教育活動の充実に努める。

ク 家庭や地域、関係機関、異校種等との連携を図り、子供の安全確保と健全育成に努める。

(3) 教育公務員としての資質を高める

ア 全体の奉仕者であることを自覚し、高い遵法精神と規範意識を持って、常に自己の研鑽に努める。

イ 教育活動を振り返るとともに積極的に研修に努め、相互に学び合い、教員としての指導力・専門性を高める。

ウ 子供を見つめ、深く理解し、その成長を支援する。

エ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた改善の推進を図る。

イ 自ら課題を見つけ、見通しを持って粘り強く学ぶ。

ウ 他者と協働し、対話を通して考えを広げ深める。

エ 感性を働かせて、思いや考えを基に、豊かに意味や価値を創造する。

オ 本に親しみ、読書活動を通して感性を磨き、読解力や表現力を高める。

(3) 「健やかな体」を育む

ア 外遊びやスポーツ活動に意欲的に取り組み、基礎的な体力を高める。

イ 食事、運動、休養・睡眠の調和のとれた生活を送る。

ウ 心身ともに健康で安全な生活を実践する能力と態度を身に付ける。

エ 食に関心を持ち、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける。

オ 健康情報や性に関する情報等を正しく選択して適切に行動できる力を身に付ける。

(4) 「よりよい社会の形成者となるための力」を育む

ア きまりを守り、社会の一員としての自覚を持つ。

イ 情報社会のルールとマナーを守り、情報を適切に活用する。

ウ 進んで働き、勤労の意義を理解し、その尊さを知る。

エ 災害に備え、命を守るための知識・判断力・行動力を身に付ける。

オ 地域の歴史・文化・自然のよさを知り、ふるさとを愛する心を持つ。

2 めざす子供像

将来の和歌山市を創造できる人を育てる
～ともに学び ともに支えあい
未来につながる教育～

(1) 「豊かな心」を育む

ア 生きることの尊さを理解し、自他の生命を大切にする。

イ 人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を身に付ける。

ウ 人々の多様なあり方を互いに認め、支え合う態度を身に付け、共生社会の担い手となる。

エ 国際的な視野に立ち、文化の多様性について理解を深める。

オ 様々な人権問題を理解し、自他の人権を守るために行動する。

(2) 「確かな学力」を育む

ア 人や自然、地域社会と関わりながら、遊びや学びを創造する。

3 指導の具体的努力点

(1) 人権・同和教育

人権・同和教育は、学校教育の重要な課題であり、この教育を積極的に推進するため、次のことを実施する。

ア 市立の学校を中学校及び義務教育学校単位でブロック編成し、市立和歌山高等学校を加えて全 19 ブロックで、校種間の連携

と地域に根ざした人権・同和教育の研究実践を進める。

- イ 教職員の人権・同和教育研修を深める。
- ウ 実践記録・資料等を発刊し、学校での指導に資する。
- エ 児童生徒の学力向上に努め、進路指導を充実する。

(2) 特別支援教育

- ア 特別な支援を必要とする幼児児童生徒の実態を把握し、個々のニーズに応じた教育的支援を行う。
- イ 教職員等の研修の充実を図り、専門性を高め、より一層適切な指導支援を行う。
- ウ 教育支援委員会により、適正な就学について指導を進める。

(3) 学校訪問

指導主事が各学校(園)を訪問し、学校(園)経営、運営上の諸問題及び学習(保育)指導、生徒指導等の教育実践上の諸問題に関して、充実を図る目的をもって指導と助言を行う。

※学校(園)から要請のあるものに対する訪問はその都度実施する。

4 主な事業の概要

(1) 研究奨励・振興事業

- ア 研究指定(研究指定は2年間)
管下の幼稚園、小学校、中学校及び義務教育学校において教科等の中で教育上の問題点を考究するとともに、研究主題を設定し、研究実践を行う。また、その研究成果を発表し、本市教育の向上を図り、その普及に努める。
- イ 新しい教育課題に対応する研究指定校(研究指定は2年間)
教科の枠を超えた、新しい教育課題や時代の変化に対応する教育課題に対し、重点を定め積極的に研究を行い、研究成果を発表することにより、本市における研究推進の中心的な役割を担う。

(2) 英語教育・国際理解教育

ア 英語教育の充実

和歌山市立和歌山高等学校に昭和63年度から外国語指導助手(A L T)を配置して、国際感覚を持った生徒の育成を図る。

イ 外国語指導助手(A L T)事業

和歌山市立小中学校及び義務教育学校における外国語指導助手(A L T)を派遣し、日本人教員とのチームティーチングを通して、児童生徒の外国語に対する興味・関心を高めるとともに、コミュニケーション能力の向上を図る。

(3) カウンセラー活用事業

市立の小学校、中学校、義務教育学校及び高等学校全てにカウンセラーを派遣し、学校におけるカウンセリング等の機能を充実させ、児童生徒、教職員及び保護者に対して助言・支援するとともに不登校・いじめの防止を図る。

(4) 就学援助等事業

保護者の経済的理由によって児童・生徒の就学が困難な場合、その保護者に対して、学用品費、校外活動費、修学旅行費等の一部を援助する。また、特別な支援を必要とする児童生徒の就学等にも助成を行う。

教職員数

(令和6年5月1日現在)

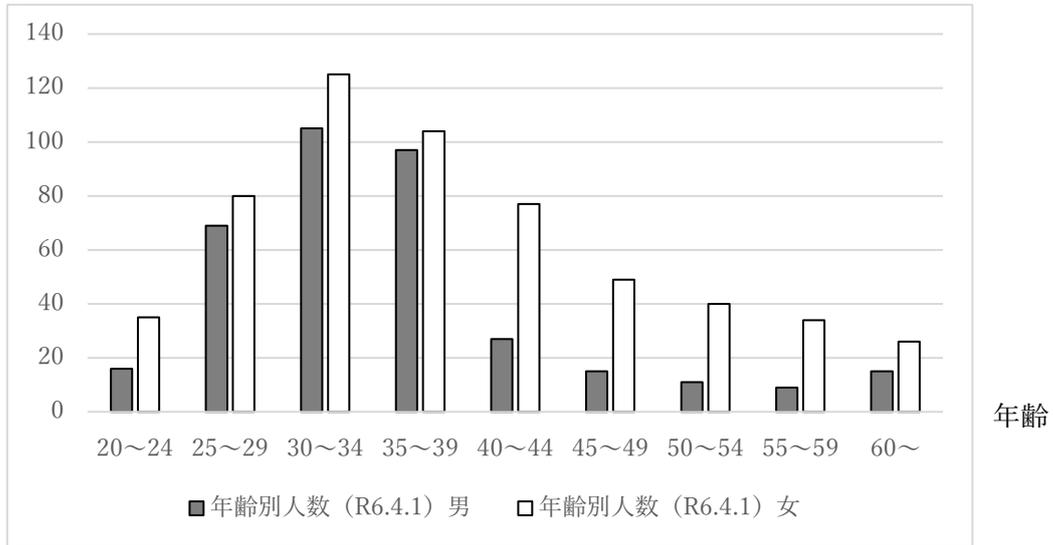
区 分		小 学 校 <small>(義務教育学校(前期)含む)</small>	中 学 校 <small>(義務教育学校(後期)含む)</small>	高 等 学 校	幼 稚 園	計
県 費 担	校 長	50	18			68
	教 員 <small>(副校長・教頭を含む)</small>	989 (55)	497 (19)	16 (1)		1,502 (75)
	養 護 教 諭	54	18			72
	事 務	54	21			75
	栄 養 職 員	17				17
	小 計	1,164	554	16	0	1,734
市 費 担	校(園)長 <small>(小学校長兼務)</small>			1 (0)	11 (8)	12 (8)
	教 員 <small>(教頭を含む)</small>			61 (1)	42 (9)	103 (10)
	養 護 教 諭			1	0	1
	実 習 助 手					
	養 護	3	4	2	3	12
	事 務			6		6
	技 術					
小 計	3	4	71	56	134	
校(園)務 員		51	17	2	1	71
調 理 師		47				47
小 計		101	21	73	57	252
合 計		1,265	575	89	57	1,986

(注) 教員欄の()内は副校長・教頭再掲

教員の年齢別・性別構成

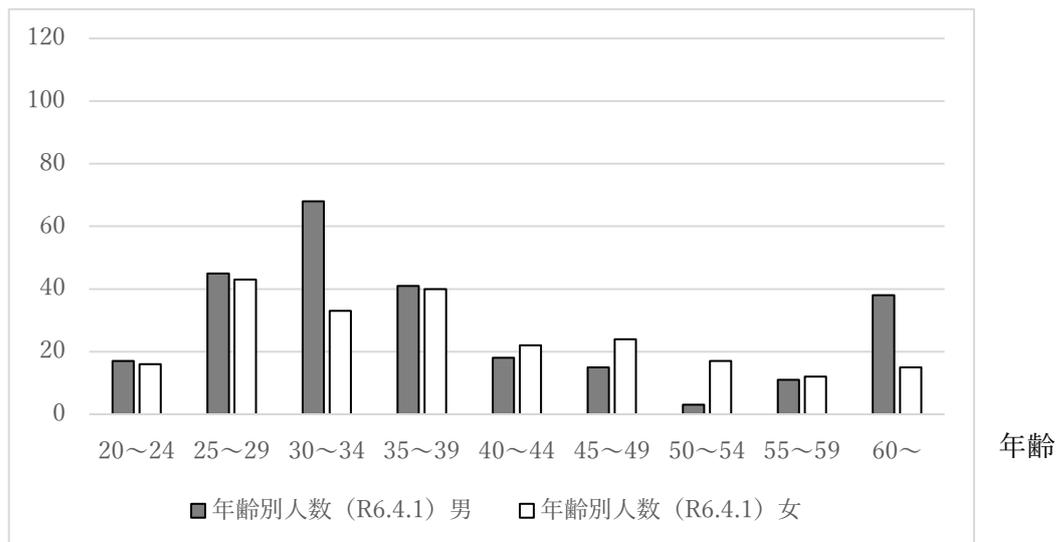
- (1) 小学校・義務教育学校（前期）（934人）
（校長・副校長・教頭を除く）

人数



- (2) 中学校・義務教育学校（後期）（478人）
（校長・教頭を除く）

人数



市立学校 園児数・児童数・生徒数

(令和6年5月1日現在)

小 学 校

	創立年	単式学級		複式学級		特別支援学級		合 計	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
大新	M22	123	6			5	2	128	8
広瀬	M6	147	6			11	2	158	8
吹上	M6	261	12			13	5	274	17
砂山	T10	227	8			12	3	239	11
高松	S3	428	15			28	5	456	20
宮北	T15	153	6			8	2	161	8
新南	S4	244	12			11	2	255	14
雑賀崎	M9	3	1	14	2	12	3	29	6
雑賀	M26	580	20			34	6	614	26
宮	M6	564	20			54	9	618	29
四箇郷	M37	479	17			16	4	495	21
芦原	M8	19	2	23	2	5	2	47	6
中之島	M8	233	10			23	4	256	14
和歌浦	M9	147	6			10	2	157	8
宮前	M9	543	18			37	6	580	24
湊	M14	89	6			8	2	97	8
野崎	M33	148	6			13	2	161	8
三田	M28	361	12			16	3	377	15
名草	M5	301	12			9	3	310	15
松江	M6	381	15			42	7	423	22
木本	M9	503	18			30	5	533	23
貴志	M33	326	12			31	5	357	17
楠見	M26	347	13			23	6	370	19
西和佐	M6	402	15			19	4	421	19
岡崎	M13	565	18			31	6	596	24
加太	M9	12	2	32	2	7	3	51	7
西脇	M9	308	12			21	4	329	16
(みらい)	S33	0	0			11	2	11	2
有功	M9	298	12			27	5	325	17
直川	M4	294	12			20	3	314	15
紀伊	M26	502	18			18	4	520	22
山口	M6	197	8			17	4	214	12
川永	M8	302	12			10	2	312	14
和佐	M33	271	12			14	4	285	16
山東	M42	128	6			8	2	136	8
東山東	M35	134	6			8	2	142	8
安原	M31	542	19			27	4	569	23
小倉	M33	312	12			17	3	329	15
太田	S44	325	12			6	2	331	14
今福	S46	121	6			12	3	133	9
野崎西	S47	298	12			22	4	320	16
鳴滝	S54	0	0	20	3	4	2	24	5
四箇郷北	S54	340	12			34	5	374	17
福島	S55	160	6			12	3	172	9
八幡台	S56	414	16			27	5	441	21
浜宮	S57	308	12			11	2	319	14
楠見西	S58	116	6			13	2	129	8
楠見東	S59	321	12			20	3	341	15
貴志南	S59	267	12			8	2	275	14
有功東	H5	263	12			22	4	285	16
藤戸台	H23	382	29			36	6	418	35
合 計		14,695	564	89	9	339	185	15,723	758

中 学 校

	創立年	単式学級		特別支援学級		合 計	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
日進	S22	597	18	33	7	630	25
東和	S22	273	9	25	4	298	13
西和	S23	312	11	11	3	323	14
城東	S22	189	7	4	2	193	9
西浜	S22	433	13	26	5	459	18
明和	S23	373	12	21	4	400	16
河北	S22	338	11	15	3	353	14
河西	S22	406	13	16	3	422	16
紀之川	S29	401	12	21	3	422	15
加太	S22	43	3	4	1	47	4
西脇	S22	373	12	22	4	401	16
(みらい)	S33	0	0	10	2	10	2
紀伊	S22	505	16	26	5	531	21
高積	S55	420	14	22	4	442	18
東	S35	623	20	33	7	667	27
楠見	S57	353	12	17	4	370	16
有功	S59	264	9	14	3	278	12
貴志	S61	547	17	25	4	572	21
合 計		6,473	209	350	68	6,823	277

義 務 教 育 学 校

	創立年	前期課程		後期課程		特別支援		合計	
		児童数	級	生徒数	級	児童・生徒数	級	児童・生徒数	級
伏虎	H29	523	18	205	7	34	5	767	30
				前期課程		24	3	552	21
				後期課程		10	2	215	9

※みらい分校 H21移転と同時に改名

幼 稚 園

	創立年	園児数	級
岡山	S25	56	3
中之島	S23	52	3
湊	S21	19	3
宮前	S28	35	3
西和佐	S29	31	3
加太	S28	9	2
紀伊	S27	42	3
山口	S27	9	2
和佐	S28	40	3
西脇	S31	28	3
雑賀崎	S46	6	2
合計		327	30

高 等 学 校

	創立年	生徒数	級
全日制	S32	757	21
定時制	S26	20	6
合計		777	27

市立中学校・義務教育学校（後期課程）生徒卒業後の状況

年 度	卒業 者 数			高等学校等進学者数			各種学校進学者数			就 職 者 数			そ の 他		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
26	1,436	1,451	2,887	1,415	1,425	2,840 98.4%	2	3	5 0.2%	10	2	12 0.4%	9	21	30 1.0%
27	1,478	1,390	2,868	1,461	1,375	2,836 98.9%	1	4	5 0.2%	7	1	8 0.3%	9	10	19 0.7%
28	1,420	1,371	2,791	1,404	1,346	2,750 98.5%	3	6	9 0.3%	7	5	12 0.4%	6	14	20 0.5%
29	1,365	1,226	2,591	1,354	1,215	2,569 99.2%	2	2	4 0.2%	5	1	6 0.2%	4	8	12 0.3%
30	1,387	1,224	2,611	1,375	1,215	2,590 99.2%	0	3	3 0.1%	2	1	3 0.1%	10	5	15 0.6%
元	1,287	1,166	2,453	1,271	1,156	2,427 98.9%	1	1	2 0.1%	8	1	9 0.4%	7	8	15 0.6%
2	1,162	1,098	2,260	1,147	1,088	2,235 98.9%	0	2	2 0.1%	7	2	9 0.4%	8	6	14 0.6%
3	1,237	1,142	2,379	1,225	1,124	2,349 98.7%	0	4	4 0.2%	3	1	4 0.2%	9	13	22 0.9%
4	1,281	1,184	2,465	1,268	1,168	2,436 98.8%	1	5	6 0.2%	1	1	2 0.1%	11	10	21 0.9%
5	1,299	1,211	2,510	1,289	1,192	2,481 98.8%	0	4	4 0.2%	4	1	5 0.2%	6	14	20 0.8%

市立高校生徒卒業後の状況

全 日 制

年 度	卒業 者 数			進 学 者 数			就 職 者 数			各種学校進学			そ の 他		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
26	87	165	252	46	62	108	16	36	52	22	55	77	3	12	15
27	84	169	253	47	73	120	15	32	47	19	56	75	3	8	11
28	86	165	251	45	70	115	24	33	57	14	49	63	3	13	16
29	80	164	244	33	56	89 36.5%	30	59	89 36.5%	15	41	56 23.0%	2	8	10 4.1%
30	97	157	254	53	50	103 40.6%	15	42	57 22.4%	27	59	86 33.9%	2	6	8 3.1%
元	94	156	250	50	50	100 40.0%	11	30	41 16.4%	31	67	98 39.2%	2	9	11 4.4%
2	86	162	248	50	55	105 42.3%	8	35	43 17.3%	27	65	92 37.1%	1	7	8 3.2%
3	76	167	243	46	70	116 47.7%	9	30	39 16.0%	18	62	80 32.9%	3	5	8 3.3%
4	83	161	244	50	77	127 52.0%	11	26	37 15.2%	18	50	68 27.9%	4	8	12 4.9%
5	80	154	234	51	58	109 46.6%	7	29	36 15.4%	19	60	79 33.8%	3	7	10 4.3%

定 時 制

年 度	卒業 者 数			進 学 者 数			就 職 者 数			各種学校進学			そ の 他		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
26	10	7	17	0	0	0	6	7	13	2	0	2	2	0	2
27	17	5	22	0	0	0	12	3	15	0	1	1	5	1	6
28	15	4	19	0	0	0	1	0	1	11	4	15	3	0	3
29	9	8	17	0	0	0 0.0%	0	4	4 23.5%	8	4	12 70.6%	1	0	1 5.9%
30	13	8	21	0	0	0 0.0%	7	2	9 42.9%	1	2	3 14.3%	5	4	9 42.9%
元	4	1	5	1	0	1 20.0%	2	0	2 40.0%	0	1	1 20.0%	1	0	1 20.0%
2	5	3	8	2	0	2 25.0%	1	1	2 25.0%	0	0	0 0.0%	2	2	4 50.0%
3	4	3	7	0	0	0 0.0%	0	0	0 0.0%	1	0	1 14.3%	3	3	6 85.7%
4	5	1	6	0	0	0 0.0%	2	0	2 33.3%	1	0	1 16.7%	2	1	3 50.0%
5	6	2	8	0	0	0 0.0%	1	0	1 12.5%	1	0	1 12.5%	4	2	6 75.0%

教 育 研 究 所

1 沿 革

昭和24年	6月	1日	和歌山市役所教育課内に設置
昭和27年	11月	1日	和歌山市教育委員会の一機関となる
昭和29年	9月	18日	和歌山市西汀丁1番地に教育委員会事務局とともに移転
昭和33年	3月	27日	和歌山市立教育研究所条例制定
昭和46年	5月	8日	和歌山市教育文化センター内に移転
昭和62年	4月	1日	学校教育課から独立、所長専任制となる
平成5年	4月	1日	教育研究所分室（パソコン研修室）開設
平成7年	4月	1日	ふれあい教室（適応指導教室）開設
平成11年	9月	1日	和歌山市教育情報ネットワーク（きいねっと）開設
平成14年	4月	1日	ふれあい教室及び教育相談事業を子ども支援センターへ移管
平成18年	2月	1日	教育研究所改修工事終了、情報教育研修室を開設
平成29年	3月	31日	教育研究所分室閉鎖

2 基本方針

教育研究所は、教育委員会の教育方針に基づき、和歌山市の教育職員の資質の向上を図ること目的に、調査研究活動と研修活動を行い、本市教育の振興に努める。

3 事業内容

(1) 調査研究活動

[ミドルリーダー育成研修]

市内の国立及び公立の学校の教職員の中から数十名の研修員を毎年任命し、研究班を組織して設定したテーマをもとに2年間の調査研究活動を行い、教育実践の指針となる研究紀要としてまとめ発信する。

<令和6年度研究班のテーマ及び研究内容>

	研究班名	研究テーマ	研究内容	研究年度
1	中学校英語科の授業づくりについての研究	中学校英語科の学力向上につながる授業づくりの研究	言語活動を通して話す力を育成するための効果的な教材等について研究を行う。	令和5年度 令和6年度

2	1人1台タブレット端末を活用した授業の研究	1人1台タブレット端末を有効活用することで新学習指導要領に対応した授業づくりを実現するための研究	各校種・各教科におけるGIGA端末を活用した学びの充実について研究を行う。	令和5年度 令和6年度
3	小学校算数科の授業づくりについての研究	小学校算数科の学力向上につながる授業づくりの研究	児童の主体的な学びを促すための授業づくりについて研究を行う。	令和6年度 令和7年度

[教育論文の募集]

和歌山市管内の幼稚園、小・中学校、義務教育学校、高等学校の教育職員の教育実践論文を募集し、本市の教育水準の高揚を図ることを目的に、教育論文集をまとめ、発信する。

[教育研究図書・資料の収集及び貸出し]

全国の教育研究（修）所連盟の各教育施設発行の研究資料や市内の幼稚園、小・中学校、義務教育学校、市立高等学校の実践資料を収集し、教員の教育実践を支援する。

- 閲覧・貸出し（教職員対象）
月～金曜日 午前9時～午後5時（祝日を除く）

[小・中学校の教科書展示会の開催]

6月から7月の間の14日間以上、教員や市民の教科書研究に資するため教科書展示会を開催する。

[全国・近畿教育研究（修）所連盟及び和歌山大学教育学部並びに和歌山大学教職大学院との連携]

- ・全国教育研究所連盟及び近畿教育研究（修）所連盟との連携を図り、教職員の研修、教育活動の基礎となる諸種の調査研究や教育資料の収集等の情報交換を行い、その成果を事業に反映させて本市教育の振興に努める。
- ・和歌山大学教育学部並びに和歌山大学教職大学院と連携し、教職生活全体を通じて学び続ける教職員の実現に向けて充実した研修を実施する。

[きいねっと等の管理・運用]

児童生徒のコミュニケーション能力や、情報活用能力を育むために、日常的に児童生徒がコンピュータやインターネットを活用できるようにネットワーク環境の整備を行うとともに、情報教育ネットワーク「きいねっと」として、管理や運用等を行う。

(2) 研修活動

幼児、児童生徒に「確かな学力」「豊かな人間性」「健康や体力」など生きる力を育み、充実した教育を実現するためには、子供たちや保護者はもとより広く社会から尊敬され、信頼される教員の育成が不可欠である。

そのため、教育研究所では大学教授をはじめ、優れた識見を備えた退職校長・地域人材などを積極的に活用し、教職員が教職に対する使命感や責任感を持ち、課題探求型学習や協働的な学びなどを展開できる実践的指導力、ICT活用力、地域と連携・協力しながら教育課題の解決に向かう力などを向上させることを企図した研修を展開する。

教職生活全体を通じて学び続ける教員を意図的・計画的・継続的に支援していく。

基本研修	
教職員のライフステージに応じて必要とされる基本的な資質能力の育成を中心とした研修	
①初任者研修	本市に採用された新任教員に対して、教育公務員特例法第23条の規定に基づき、教職に対する使命感と実践的指導力を養うとともに、幅広い知見を得させることを目的として実施する。
②2年次研修	教職経験2年目の教員に対して、日常の教育実践と関連させながら、今後の教職生活を見通した研修を実施する。
③教師力向上研修 (5～10年次研修)	採用後5～10年の教員を対象に、研究授業の実施や実践記録の作成を通して授業実践力の向上を図り、中核教員としての自覚を促すことを目的として研修を実施する。
④中堅教諭等資質向上研修	在職期間が10年に達した教員に対して、教育公務員特例法第24条の規定に基づき、個々の教員の能力や適正等に応じて必要な事項の研修を実施し、教員としての資質の向上を図ることを目的として、2年間にわたり研修を実施する。
⑤新任校園長研修	新任校園長が今日的な教育課題について学び、その解決のための実践的能力や危機管理能力などをはじめとする学校経営能力を向上させることを目的として研修を実施する。
⑥新任教頭研修	職務遂行能力の向上を図ることを目的として、教頭の職務、学校教育の今日的な課題、教育法規等について研修を実施する。
⑦新任教務主任教員研修	教育計画の立案、その他の教務に関する事項及び学校運営全般に関する諸問題について研修を実施する。
⑧新任特別支援学級担当教員研修	初めて特別支援学級を担当する教員に対して、障害のある児童生徒に必要な教育的支援のあり方やこれからの特別支援教育の方向について研修を実施する。
⑨臨時的任用教員研修	臨時的任用の教員に対して、基礎的な知識を習得させ、子供理解の能力と授業力を高めることを目的に研修を実施する。

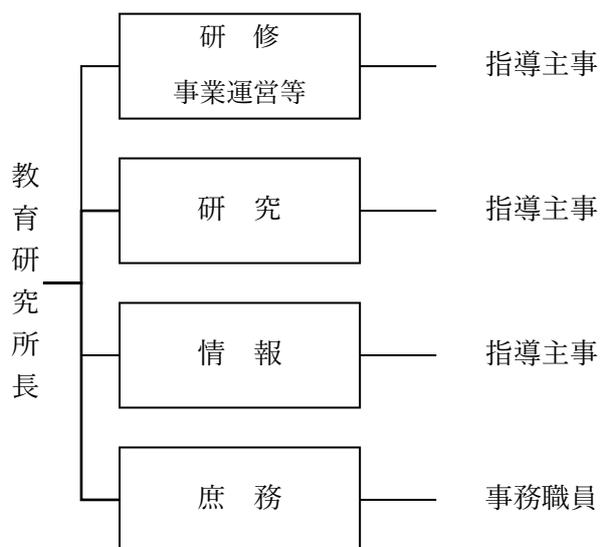
専門研修	
教職員の実践的な指導力の向上を図ることを目的とした喫緊の教育課題や職務に関する専門事項についての研修	
①国語科教育研修	⑨学級経営研修
②社会科教育研修	⑩特別支援教育研修
③算数・数学科教育研修	⑪幼稚園教育研修
④理科教育研修	⑫喫緊の教育課題 (子供理解・セクシャルハラスメント等)
⑤道徳教育研修	
⑥外国語教育研修	⑬学び合いの授業づくり研修
⑦総合的な学習研修	⑭体育科教育研修
⑧伝統文化研修	

情報研修	
教職員のICT活用指導力の向上と情報モラル・セキュリティ教育の充実を目標とする研修	
①情報教育担当者研修	⑤CMSによるホームページ作成研修
②情報教育研修	⑥校務支援システム研修
③情報モラル研修	⑦プログラミング研修
④情報セキュリティ研修	

訪問研修及び授業力向上のための研修	
教職員の子供理解を深めるとともに専門性を高め、実践的指導力の向上を目的とする研修	
①授業力向上研修 (3・4年次研修)	優れた識見を備えた研修指導員・指導主事等の訪問による校内研修及び集合研修を通して、採用後3・4年目の教員が学級経営、授業構成・展開についての理論や技能を学び、資質の向上を図る。また、自己の実践を省察し、実践力の向上にいかせるようにする。
②実践授業研修 (講師研修)	小・中・義務教育学校に勤務する臨時的任用教員の実践的指導力を高めるために学級経営や授業づくり等についての訪問研修を行う。
③客員指導主事を活用した研修	高い識見を持つ退職教員、地域人材、大学教授などを客員指導主事として委嘱し、学校における研修、研究授業の指導助言、講演活動などを実施し、教職員の資質向上の取組を支援する。

長期社会体験研修
民間企業や社会福祉施設等に教員を派遣し、対人関係能力の向上、社会の構成員としての視野の拡大などを行うことを目的とする研修

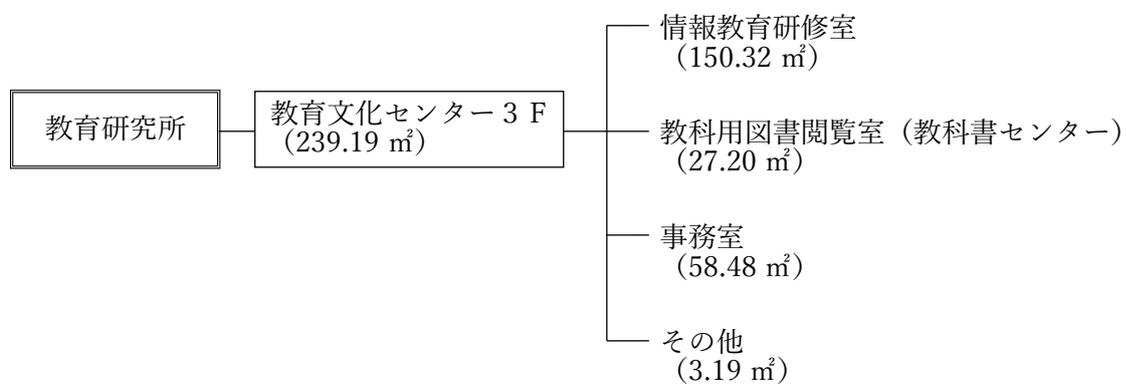
4 組 織



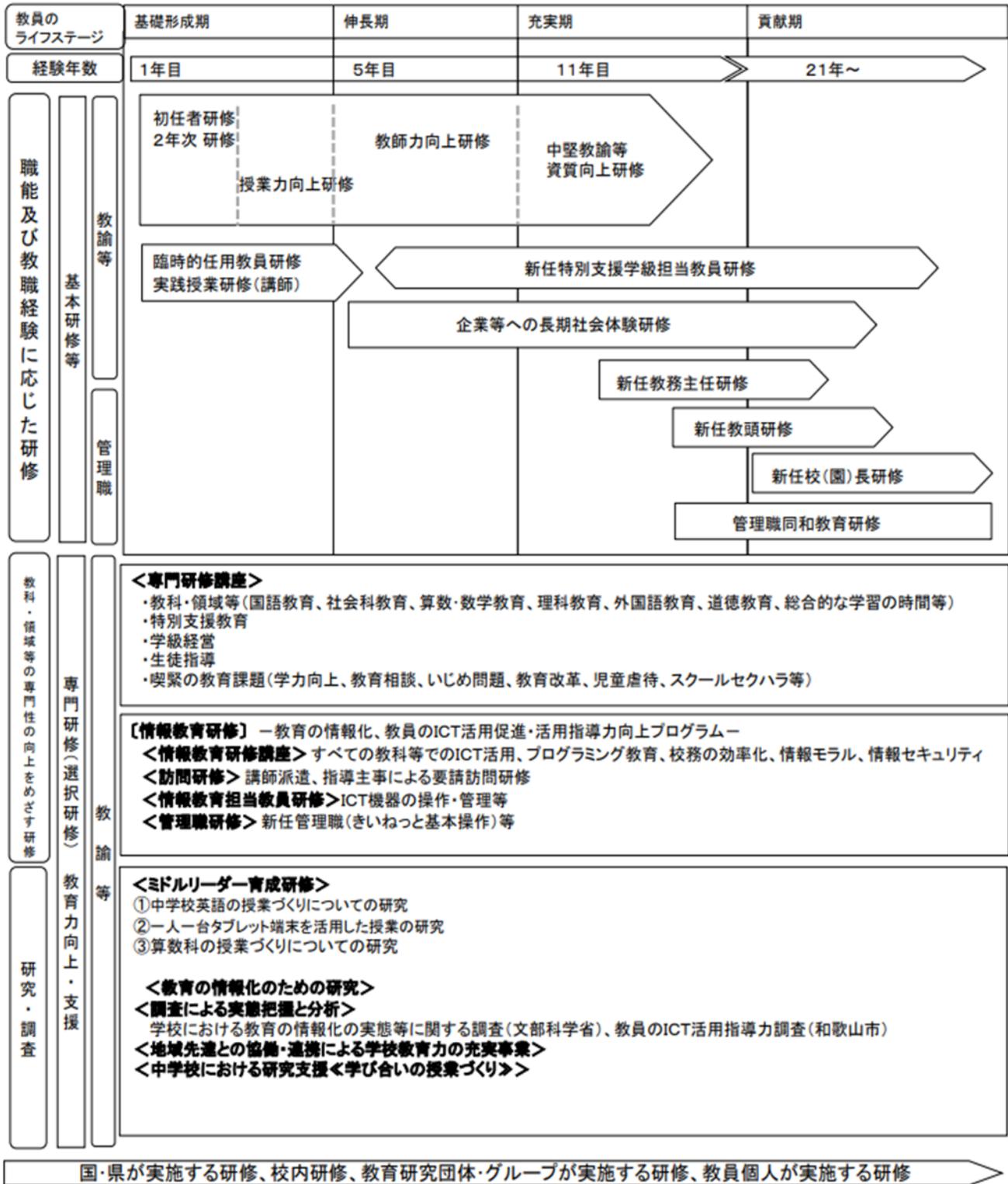
<職員>

所長（1名）、指導主事（4名）、教育指導専門員（1名）、事務職員（1名）、
会計年度任用職員（3名）

5 施 設



令和6年度 和歌山市立教育研究所 教員研修・研究・調査等実施体系



少年センター



(少年センター外観)

1 概要

- (1) 所在地 和歌山市七番丁16番地
(ワイチ産業ビル3F)
- (2) 電話番号 (073)425-2351
F A X (073)425-2352
- (3) 開所時間 8時30分から17時15分まで
- (4) 休所日 土・日・祝日
年末年始(12月29日から1月3日)
- (5) 敷地面積 318.19㎡
- (6) 延床面積 193.44㎡

2 目的及び事業

少年の健全育成を期し、少年の非行を防止するための活動をしている。

(1) 補導活動

街頭での喫煙飲酒行為や深夜徘徊等の不良行為や問題行動をしている少年に対し、非行の防止や健全育成のための適切な指導を行う。



(教員との街頭補導)

(2) 調査研究

少年を正しく導くため少年を取り巻く環境や問題点、悩みについて調査研究を行う。

(3) 少年相談

少年についての色々な問題や悩みごとの相談を受け、自立や立ち直りを図る為の支援や問題解決の指導を行う。

(4) 広報啓発活動

児童・生徒が安全に登下校できるように「安全パトロール」の実施や関係機関、関係団体、少年補導委員会との協議会、研修会、講演会を開催するほか機関誌「少年センターだよりわかやま」を発刊する。



(青色回転パトロール車)

(5) 連携

学校、警察及び関係機関、関係団体、少年補導委員会が一体となって補導活動ができるよう連携を図る。

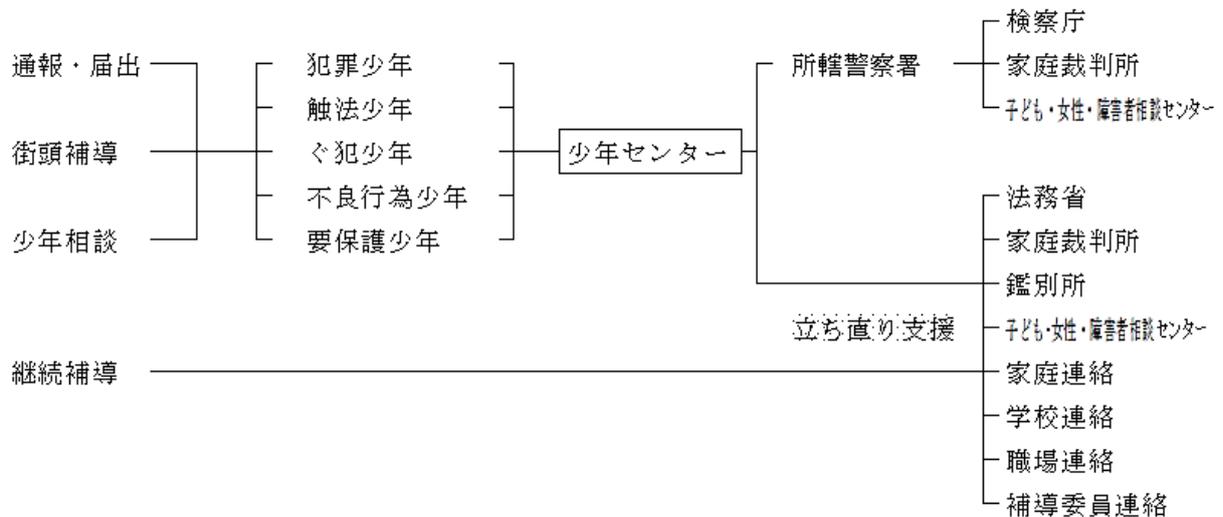
(6) 環境浄化活動

児童・生徒が警察、関係団体、地域と一体になって行う社会参加活動の支援や有害な環境・情報等の点検及び浄化を行う。



(中学生による街頭啓発活動)

3 業務のしくみ



4 職員の構成

(令和6年4月現在)

職名	備考
少年センター長	和歌山市事務官吏
補導主事	専門教育監補1名、専門教育員1名
補導主事	派遣警察官3名(和西署1名 和東署1名 和北署1名)
会計年度任用職員	教育指導員2名(警察OB・教員OB)
会計年度任用職員	行政事務員1名

5 少年補導員 総数1,363名

(令和6年5月現在)

民生・児童委員	731名	小学校PTA	169名
小学校教員	167名	中学校PTA	67名
中学校教員	76名	義務教育学校PTA	4名
義務教育学校教員	3名	一般(量販店・BBS)	82名
高等学校教員	51名	市教委・少年センターほか	12名
支援学校	1名		

小・中・高等学校長会代表3名
小・中学校PTA育友会連合会4名

子ども支援センター



(こども家庭センター 外観)

※1・2Fは本町こども園

1 概要

- (1) 所在地 和歌山市北桶屋町7番地
(こども家庭センター内)
- (2) 電話番号 (073)402-7830
F A X (073)402-7832
- (3) 休所日 土・日・祝日
年末年始(12月29日～1月3日)
- (4) 敷地面積 2370.96 m²
- (5) 延床面積 1575.6 m² $\left[\begin{array}{l} 3F : 787.8 \text{ m}^2 \\ 4F : 787.8 \text{ m}^2 \end{array} \right]$

2 目的及び事業

和歌山市に在住している子供及び保護者、教職員を対象に、子供に関する教育上の諸問題について相談に応じ、解決に向けての支援を行う。

(1) 教育相談(来所相談・電話相談)

学校生活、性格や行動、子供の発達、子育て等、様々な問題について、来所による相談や電話による相談に応じる。

また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを学校に派遣し、相談活動を行う。

(2) 適応指導教室(ふれあい教室)

様々な理由で学校に行きづらい子供が、安心して過ごすことができる心の居場所として、

「ふれあい教室」を設置する。教室では、通級生とのふれあいや体験活動、学力補充、ICT活用による支援等を通して、「生きる力」を身につけるとともに、保護者・学校と連携し、社会的自立・学校復帰に向けた支援を行う。

(3) 日本語支援のサポート

外国籍等で日本語理解が不十分な児童生徒に対して、日常生活及び学習活動の充実を図るため、日本語支援ボランティアを学校に派遣する。

3 施設

- 3 F 事務室・電話相談室・相談室1～3
和室・会議室・家族療法室
- 4 F プレイルーム・調理実習室
適応指導教室(ふれあい教室)
個別学習室・スタッフルーム
心理療法室・カウンセリングルーム
図書コーナー

4 利用案内

(1) 教育相談

対象：18歳までの子供及び保護者、教職員

○来所相談

実施日時：予約が必要

祝日を除く月曜日～金曜日
午前9時～午後5時

○電話相談

専用番号 (073)402-7831

実施日時：祝日を除く月曜日～金曜日
午前9時～午後5時

(2) 適応指導教室(ふれあい教室)

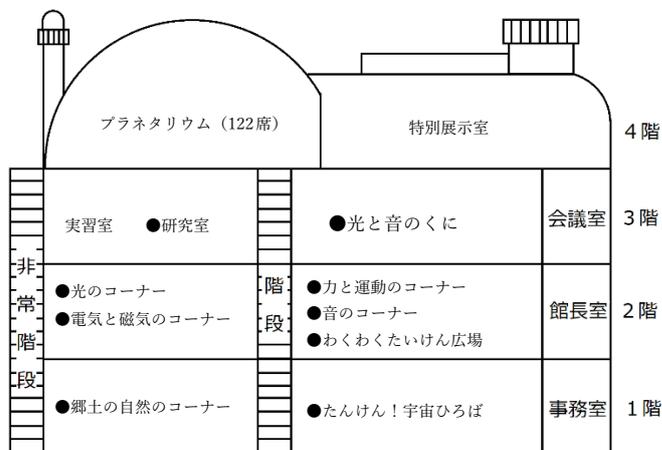
対象：不登校が継続している小中学生

開室日：月曜日～金曜日(祝日及び冬・春の休業中は閉室。夏の休業中は期間を決めて開室)

こども科学館



<こども科学館外観>



1 概要

- (1) 所在地 和歌山市寄合町19番地
- (2) 電話番号 (073) 432-0002
- (3) F A X (073) 432-0004
- (4) 開館時間 9時30分から16時30分まで
休館日 月曜日（休日に当たるときはその日以後においてその日に最も近い休日でない日）
年末年始（12月29日～1月3日）
※上記のほか、臨時に休館する場合があります。
- (5) 敷地面積 749.66㎡
- (6) 建築面積 474.11㎡
- (7) 建物延面積 2007.46㎡
建物構造 鉄筋コンクリート地上4階建

入館料及びプラネタリウム観覧料

		個人		団体(30人以上)	
		幼児	小・中学生	大人	小・中学生
入館料	無料	150円	300円	110円	230円
プラネタリウム観覧料	無料	150円	300円	110円	230円

2 趣旨

こども科学館は、市制施行90周年と国際児童年を記念して、「見よう、ためそう、みんなの夢」をテーマに昭和56年5月5日に開館した。

*こども科学館 科学教育目標

こどもの自然科学に関する興味と認識を深め、個性に応じた能力の伸長と情操豊かで創造的なこどもを育成する。（和歌山市立こども科学館条例第1条）

- (1) 幼児期から自然事象に触れることをとおして、自然を愛する心情や自然科学に関する興味関心を育む。
- (2) 展示や科学普及教室をとおして科学的な見方や考え方を養う。

3 事業の概要

(1) 展示

1階 エントランスホールでは、科学の入り口として「たんけん！宇宙ひろば」がお客様を迎える。郷土の自然コーナーでは和歌山市とその周辺の地形・地質・岩石・化石・植物・昆虫・魚・鳥を展示している。



<たんけん！宇宙広場>

2階 電気と磁力・力と運動・音・光に関する展示があり、楽しく体験しながら学ぶことができる。また、幼児が楽しく遊びながら科学を体験できる「わくわくたいけんひろば」も設置している。

3階 光と音の国は楽しく遊びながら学べる参加体験型の展示である。実習室では各種科学普及教室を行っている。

4階 天体に関する展示をしている。和歌山天文館で使われていた金子式プラネタリウムと本館で使用していたコニカミノルタ製のMS-10型投影機を展示している。プラネタリウムは、ドーム直径が12m、定員は122人である。



<プラネタリウム>

(2) プラネタリウム

光学式主投影機により、限りなく自然に近い星空が再現でき、その星空に関する解説を行う。また、デジタル投影による天体に関する情報や映像の投影を行い、天体に関する興味関心を高める。

- * 一般投影
 - ・本日の星空解説と全天周映像番組の投影を行う。
- * 学習投影
 - ・小中学校の天体学習の補助を行う。
- * 幼児用七夕投影
 - ・幼稚園、保育所（園）、認定こども園等を対象とし、特別に投影を行う。

(3) 科学普及教室

- * 9歳までに身につけたい科学教室
 - ・9歳になるまで（小学校2年生以下）の子供を対象に、身の回りにある自然事象を体験しながら学ぶ教室。
- * 実験で発見！教室
 - ・小学3年生から中学3年生までを対象に身近な自然事象や学習したことなどについて、実験しながら新たな見方や考え方を養う教室。
- * 実験工作教室
 - ・科学への興味関心を育み、実験や工作をしながら学ぶ教室。
- * 親子生き物博士教室
 - ・現地で、生き物に触れたり体験したりしながら、自然への興味関心を育む教室。
- * 自然工作教室
 - ・様々な道具に慣れ、自然にあるものを材料として作品を完成させる教室。
- * 自由研究（科学作品）のススメ
 - ～テーマと研究方法～
 - ・小学生を対象に、自由研究のきっかけ作りやヒントを得る教室。
- * ミニサイエンス
 - ・主に小学生までの子供を対象に20分程度の簡単な実験や工作、解説等を行う教室。
- * 親子天体観察会
 - ・主に子供とその保護者を対象に和歌山市内の公園等で実施する。
 - ・望遠鏡等を使用して天体を観察する。



<親子天体観察会>



<親子生き物博士教室>



<ミニサイエンス>

(4) 発明創作事業

- * 発明くふうコンクール
 - ・発明やくふうに興味関心を持ち、日常生活の改善と豊かな暮らしを目指すことを目的として、市民の方からアイデアを活かした「くふう作品」を募集し、応募作品の公開展示や優れた作品の表彰を行う。

- * 親子ペットボトルロケット工作&打上大会
 - ・親子でペットボトルロケットを作製し、打ち上げ飛距離を競うことをとおして、工夫して工作する楽しさや豊かな創造力を養うとともに、技術の向上を図る。
- * 子供創作教室
 - ・ものづくりを楽しむことにより、豊かな創造力を養うとともに、技術の向上を図る。

(5) 連携協力活動

- * 和歌山市少年少女発明クラブ
 - ・創作を楽しみながら豊かな発想力、くふう力、創造力の育成を図る。
 - ・小学校3年生～中学校3年生の児童・生徒2クラス48名 年間各16回 木工、科学、金属、革、電気、プログラミングの創作教室を実施する。
- * 青少年のための科学の祭典
 - －おもしろ科学まつり－
- * 発明創作事業 親子ペットボトルロケット工作&打上大会の補助
 - ・和歌山大学ボランティア学生の協力
- * 発明創作事業 子供創作教室の補助
 - ・信愛大学ボランティア学生の協力

令和5年度実績

- * 年間入館者数 42,133人
- * こども科学館科学普及教室参加者数
年間 1,914人
- * 発明創作事業参加者数
(教室及び発明くふうコンクール)
年間 237人

4 利用状況

(1) 入館者数・プラネタリウム観覧者数（令和5年度）

月別	入館者数(人)					プラネタリウム観覧者数(人)				
	有料			無料(B)	計 (A)+(B)	有料			無料(D)	計 (C)+(D)
	大人	小人	計(A)			大人	小人	計(C)		
4	1,063	618	1,681	841	2,522	540	297	837	419	1,256
5	1,108	1,753	2,861	1,141	4,002	565	870	1,435	1,278	2,713
6	803	691	1,494	2,439	3,933	257	191	448	1,814	2,262
7	1,940	979	2,919	2,096	5,015	1,248	735	1,983	1,488	3,471
8	2,634	1,643	4,277	2,105	6,382	1,703	1,285	2,988	1,306	4,294
9	1,223	734	1,957	1,354	3,311	775	389	1,164	855	2,019
10	877	1,377	2,254	1,072	3,326	443	597	1,040	843	1,883
11	742	814	1,556	954	2,510	410	456	866	601	1,467
12	628	346	974	739	1,713	360	129	489	529	1,018
1	1,070	346	1,416	1,114	2,530	584	164	748	645	1,393
2	1,226	505	1,731	1,351	3,082	656	296	952	775	1,727
3	1,475	605	2,080	1,727	3,807	744	291	1,035	912	1,947
合計	14,789	10,411	25,200	16,933	42,133	8,285	5,700	13,985	11,465	25,450

(2) こども科学館事業（令和5年度）

○親子生き物博士教室 対象:子供とその保護者

10家族

教室名	実施日	場所	参加人数
磯の生き物観察	4月22日(土)	加太海岸	30
干潟の生き物観察	5月20日(土)	せせらぎ公園	30
セミの分布調査	7月30日(日)	和歌山城・こども科学館	25
秋の草花・昆虫採集	9月18日(月)	せせらぎ公園	26
合計			111

○親子天体観察会 対象:子供とその保護者

教室名	実施日	場所	参加人数
夏の星	8月26日(土)	市民図書館	雨天中止
秋の星と惑星	11月4日(土)	西分館	62
冬の星	3月16日(土)	大新公園	33
合計			95

○実験で発見！教室 対象:小学3年生～中学3年生(小学3、4年生は保護者同伴)

定員:子供8人

教室名	実施日	場所	参加人数
顕微鏡1「観察しよう！身近な物」	4月29日(土)	3階実習室	16
天体「月や星、惑星について知ろう」	6月3日(土)	4階プラネタリウム室	18
顕微鏡2「観察しよう！生き物たち」	7月1日(土)	3階実習室	16
酸・アルカリ「調べて作ろう～葉脈標本～」	9月2日(土)	3階実習室	14
電磁石「電磁石を見て、触って、作ってみよう」	10月7日(土)	3階実習室	8
力「いろいろなパワーを感じよう」	11月4日(土)	3階実習室	6
光「光のふしぎを探ろう」	12月2日(土)	3階実習室	2
電気「静電気のみみつを探ろう」	1月6日(土)	3階実習室	5
化学「化学変化を体験しよう！」	2月17日(土)	3階実習室	9
合計			94

○自由研究(科学作品)のススメ 場所:3階実習室 定員:小学生8人

教室名	実施日	対象	参加人数
観察・実験テーマと研究方法	7月21日(金)	小学1～2年生	17
観察・実験テーマと研究方法	7月25日(火)	小学3～6年生	11
	合計		28

○9歳までに身につけたい科学教室 (午前・午後開催) 対象:5歳～小学2年生と保護者

場所:3階実習室

定員:子供8人

教室名	実施日	参加人数
水1「水に浮くもの、沈むもの」	5月20日(土)	25
水2「水の色をかえよう」	6月17日(土)	36
水3「へんしんする水」	9月16日(土)	25
空気1「つかまえたり、とじこめたり ～パラシュート、空気てっぽう作り～」	10月21日(土)	29
空気2「風の力 ～かざぐるま～」	11月18日(土)	13
音「ふるえて伝わる ～糸電話～」	12月16日(土)	17
静電気「くつつく、はなれる、空中くらげ」	1月20日(土)	36
光「まぜたり、わけたり」	2月3日(土)	33
磁石「はなれてはたらく力」	3月16日(土)	34
	合計	248

○自然工作教室 (午前2回開催) 対象:子供とその保護者

場所:3階実習室

定員:子供12人

教室名	実施日	参加人数
石のペイント工作	5月3日(水)	18
サンゴ・貝の工作	7月23日(日)	43
石のペイント工作	8月19日(土)	42
松ぼっくり・ドングリの工作	12月10日(日)	25
	合計	128

○実験工作教室 対象:5歳から小学6年生(小学4年生以下は保護者同伴)

場所:3階実習室

定員:子供8人

教室名	実施日	参加人数
音のふしぎ ～楽器を作ろう～	6月25日(日)	17
たねのふしぎ ～空とぶタネを作ろう～	8月27日(日)	13
音のふしぎ ～楽器を作ろう～	11月23日(木)	11
水・空気のふしぎ ～浮沈子を作ろう～	2月23日(金)	19
	合計	60

○ミニサイエンス(毎週日曜日実施) 対象:子供とその保護者

場所:3階実習室

定員:子供12人

	テーマ	開催回数	参加者数
4月	空気てっぽうを作ろう	5	114
5月	いろいろな紙ひこうきをおろう	5	105
6月	フライングモモンガを作ろう	4	98
7月	キュービックパズルを作ろう	5	126
8月	ストローひこうきを作ろう	4	92
9月	バランストーンボを作ろう	4	84
10月	ふうせんロケットを作ろう	5	117
11月	うごくキツツキを作ろう	4	62
12月	ひつつき虫のひみつをさぐる	3	63
1月	空気てっぽうを作ろう	4	93
2月	おさるののぼり人形を作ろう	4	83
3月	宙にうくボールを作ろう	5	113
	合計	52	1150

○プラネタリウム 全天周映像番組(約30分)と本日の星空解説(約15分)

番組名	期間
第150作 番組「こぐま座のティオ 12星座のなかまたち」	令和4年12月17日～令和5年 6月 4日
第151作 番組「ヒーリングアース」	令和5年 4月22日～令和6年 4月14日
第152作 番組「クレヨンしんちゃん 星空と学校の七不思議だゾ！」	令和5年 6月10日～令和5年10月 1日
第153作 番組「ジュラシックヒーローズ」	令和5年10月 7日～令和5年12月10日
第154作 番組「しまじろうとたんじょうびのおほしさま」	令和5年12月16日～令和6年6月2日

○プラネタリウム学習番組・七夕番組

番組名	期間
学習番組(小・中学校の教育課程)	令和5年度 土・日・祝日を除く通年
七夕番組(幼稚園児など対象 投影時間約21分)	令和5年6月16日～令和5年7月7日 (休館日を除く平日)

○発明創作事業

教室名	実施日	対象者	場所	参加人数
親子ペットボトルロケット工作&打上大会	7月22日	市内在住もしくは通学 小学1年生～小学6年生	東公園	33
夏休み子供造花教室	7月26日～27日 (2日間)	市内在住もしくは通学 小学1年生～小学6年生	3階実習室	8
親子プログラミング教室	7月29日	市内在住もしくは通学 小学1年生～小学4年生	3階実習室	18
夏休み子供木工教室	8月2日～3日 (2日間)	市内在住もしくは通学 小学3年生～中学3年生	3階実習室	8
夏休み親子科学教室	8月5日	市内在住もしくは通学 小学1年生～小学2年生	3階実習室	13
夏休み子供革工作教室	8月9日～10日 (2日間)	市内在住もしくは通学 小学4年生～中学3年生	3階実習室	12
夏休み子供科学工作教室	8月17日～18日 (2日間)	市内在住もしくは通学 小学3年生～中学3年生	3階実習室	16
プログラミング教室	12月23日～24日 (2日間)	市内在住もしくは通学 小学5年生～中学3年生	3階実習室	1
和歌山市民発明くふうコンクール出品者	10月21日及び22日 展示・表彰式	市内在住もしくは 通勤・通学	和歌山城ホール	128
			合計	237

- こども科学館ホームページの公開 <https://kodomo123.jp/wordpress/>
- こども科学館ニュース(市内の小学校に配布)
- 「科学や理科に関する相談」(年間を通じて実施)
- 展示解説の実施

学 校 施 設



<予防改修事業(屋上防水・外壁改修)>



<トイレ改修事業>



<LED照明設置事業>



<空調改修事業>

令和6年度学校施設主要事業の概要（当初予算及び繰越予算）

事業名	予算額	学校種別内訳	
施設維持管理事業	当初 268,834千円	小学校	当初 177,760千円
		中学校	当初 76,241千円
		幼稚園	当初 14,833千円
施設整備事業	当初 178,849千円 繰越 2,357,621千円	小学校	当初 43,234千円
			繰越 1,405,281千円
		中学校	当初 125,179千円
			繰越 859,076千円
		幼稚園	当初 10,436千円
			繰越 93,264千円

学校施設一覧表（令和6年4月1日現在）

【小学校】

番号	校名	所在地	保有教室数			校舎面積(m ²)			屋体面積(m ²)	校地面積(m ²)			借地面積(m ²)	プール面積(m ²)
			普通	特教	計	鉄筋	木造	計		運動場	建物敷地	計		
1	大新小学校	新大工町23番地	8	13	21	3,383	0	3,383	990	3,674	7,040	10,714	0	289
2	広瀬小学校	広瀬中ノ丁1丁目5番地	8	12	20	3,643	0	3,643	935	5,376	4,714	10,090	0	425
3	吹上小学校	吹上4丁目1番15号	16	13	29	4,290	0	4,290	937	4,367	6,287	10,654	0	375
4	砂山小学校	砂山南2丁目1番52号	11	17	28	3,594	92	3,686	733	5,062	5,648	10,710	0	351
5	高松小学校	東高松2丁目4番45号	20	12	32	4,947	0	4,947	1,032	3,897	5,698	9,595	0	250
6	宮北小学校	納定21番地	8	13	21	3,610	26	3,636	719	3,680	4,426	8,106	0	325
7	新南小学校	木広町4丁目23番地	14	11	25	3,606	0	3,606	743	4,058	6,152	10,210	0	200
8	雑賀崎小学校	西浜1148番地	6	6	12	2,746	0	2,746	502	5,997	4,229	10,226	418	293
9	雑賀小学校	西浜1丁目4番48号	26	16	42	5,358	26	5,384	1,092	4,238	10,869	15,107	0	325
10	宮小学校	秋月475番地	29	19	48	5,828	0	5,828	799	6,112	7,832	13,944	0	375
11	四箇郷小学校	有本183番地	21	8	29	4,330	0	4,330	604	4,172	5,722	9,894	0	250
12	芦原小学校	雄松町4丁目25番地1	8	16	24	4,848	0	4,848	698	4,529	5,213	9,742	0	370
13	中之島小学校	中之島1491番地	14	15	29	4,417	0	4,417	922	3,553	6,940	10,493	0	375
14	和歌浦小学校	和歌浦西2丁目1番18号	8	15	23	4,246	0	4,246	943	5,215	4,235	9,450	0	260
15	宮前小学校	北中島1丁目7番4号	24	23	47	6,886	0	6,886	1,020	6,270	8,525	14,795	0	375
16	湊小学校	湊2丁目17番40号	8	10	18	3,000	0	3,000	915	4,115	6,916	11,031	0	375
17	野崎小学校	野崎130番地1	8	15	23	3,447	0	3,447	956	5,108	7,675	12,783	0	375
18	三田小学校	和田419番地1	15	13	28	4,154	0	4,154	968	6,729	5,875	12,604	0	375
19	名草小学校	紀三井寺240番地	14	17	31	5,637	15	5,652	761	8,738	8,839	17,577	0	250
20	松江小学校	松江北4丁目1番1号	22	9	31	4,914	0	4,914	986	10,085	9,685	19,770	0	350
21	木本小学校	榎原255番地	23	19	42	5,757	33	5,790	721	4,879	7,780	12,659	2,548	350
22	貴志小学校	栄谷895番地2	17	12	29	5,197	0	5,197	720	4,621	6,513	11,134	0	375
23	楠見小学校	大谷349番地2	19	18	37	5,870	0	5,870	763	10,011	7,302	17,313	2,017	375
24	西和佐小学校	栗栖84番地1	19	7	26	3,714	0	3,714	732	5,751	8,992	14,743	0	425
25	岡崎小学校	寺内426番地	24	8	32	4,203	0	4,203	730	6,602	6,867	13,469	0	393
26	加太小学校	加太1210番地	7	11	18	3,637	0	3,637	733	5,222	8,297	13,519	0	500
27	西脇小学校	西庄1012番地	16	10	26	4,115	0	4,115	945	2,588	5,604	8,192	0	425
27*	西脇小みらい分校	つつじが丘7丁目2番1	2	1	3	0	0	0	0	652	0	652	185	0
28	有功小学校	園部1453番地	17	14	31	4,618	20	4,638	706	12,087	5,722	17,809	39	350
29	直川小学校	直川1253番地	15	5	20	2,873	0	2,873	721	5,957	5,007	10,964	0	375
30	紀伊小学校	弘西321番地	22	11	33	4,912	0	4,912	733	3,526	6,506	10,032	0	394
31	山口小学校	里146番地	12	9	21	2,837	0	2,837	835	4,686	5,246	9,932	0	375
32	川永小学校	楠本285番地	14	14	28	4,166	0	4,166	872	4,556	5,766	10,322	0	275
33	和佐小学校	柿宣949番地2	16	8	24	2,909	26	2,935	771	5,177	2,947	8,124	0	275
34	山東小学校	吉礼326番地	8	16	24	3,830	0	3,830	705	3,714	5,197	8,911	0	200
35	東山東小学校	山東中52番地1	8	7	15	2,110	0	2,110	732	4,859	5,431	10,290	0	350
36	安原小学校	江南239番地	23	8	31	4,179	0	4,179	852	5,455	5,356	10,811	0	315
37	小倉小学校	新庄348番地	15	13	28	4,368	33	4,401	733	6,581	8,875	15,456	753	350
38	太田小学校	太田636番地	14	9	23	3,392	0	3,392	769	7,811	6,300	14,111	0	298
39	今福小学校	今福3丁目7番46号	9	9	18	3,219	0	3,219	638	6,591	7,654	14,245	0	375
40	野崎西小学校	梶取301番地の3	16	11	27	3,752	0	3,752	670	5,224	5,662	10,886	0	343
41	鳴滝小学校	善明寺615番地3	5	18	23	3,959	0	3,959	736	5,650	5,923	11,573	0	362
42	四箇郷北小学校	有本321番地	17	9	26	4,198	0	4,198	733	7,417	7,215	14,632	0	375
43	福島小学校	福島135番地4	9	14	23	3,352	0	3,352	733	6,502	6,507	13,009	0	338
44	八幡台小学校	西庄1110番地	21	14	35	5,043	0	5,043	726	9,015	17,372	26,387	0	346
45	浜宮小学校	内原778番地16	14	15	29	4,418	0	4,418	726	8,133	5,167	13,300	0	375
46	楠見西小学校	市小路31番地	8	14	22	3,990	0	3,990	734	5,704	5,662	11,366	0	322
47	楠見東小学校	善明寺150番地1	15	12	27	4,350	0	4,350	740	7,132	8,533	15,665	0	375
48	貴志南小学校	中野11番地1	14	12	26	4,237	0	4,237	734	6,735	6,259	12,994	0	357
49	有功東小学校	六十谷895番地	16	8	24	4,652	0	4,652	942	8,060	12,981	21,041	0	375
50	藤戸台小学校	栄谷974番地245	35	11	46	6,667	0	6,667	1,170	7,528	12,725	20,253	0	375
計			758	620	1,378	211,408	271	211,679	40,310	293,401	347,888	641,289	5,960	17,281

【中学校】

番号	校名	所在地	保有教室数			校舎面積(m ²)			屋体面積 (m ²)	校地面積 (m ²)			借地面積 (m ²)	プール 面積 (m ²)
			普通	特教	計	鉄筋	木造	計		運動場	建物敷地	計		
1	日進中学校	秋月365番地3	25	18	43	9,480	0	9,480	1,481	10,709	7,486	18,195	0	0
2	東和中学校	杭ノ瀬116番地	15	18	33	5,075	0	5,075	1,369	11,210	6,290	17,500	0	375
3	西和中学校	砂山南3丁目3番9号	14	24	38	6,903	0	6,903	1,461	16,700	15,832	32,532	0	375
4	城東中学校	美園町2丁目63番地	9	22	31	5,600	33	5,633	1,078	8,002	6,437	14,439	0	0
5	西浜中学校	西小二里1丁目6番1号	18	29	47	7,811	0	7,811	1,353	9,525	8,816	18,341	1,629	375
6	明和中学校	紀三井寺832番地1	15	24	39	7,153	0	7,153	1,236	20,878	11,483	32,361	0	375
7	河北中学校	北島370番地1	14	24	38	6,126	0	6,126	1,330	16,213	10,401	26,614	0	375
8	河西中学校	松江北5丁目19番1号	16	28	44	7,143	0	7,143	1,271	13,000	10,604	23,604	0	375
9	紀之川中学校	有本668番地1	15	26	41	6,860	0	6,860	1,286	14,943	7,799	22,742	0	375
10	加太中学校	加太2692番地1	4	12	16	3,117	369	3,486	737	6,434	4,447	10,881	0	500
11	西脇中学校	西庄1110番地5	16	23	39	5,874	0	5,874	1,064	8,794	23,933	32,727	0	375
11*	西脇中みらい分校	つつじが丘7丁目2番1	2	0	2	0	0	0	0	652	0	652	0	0
12	紀伊中学校	北野544番地1	21	26	47	7,009	0	7,009	1,145	15,069	12,283	27,352	0	375
13	高積中学校	布施屋112番地2	18	22	40	6,328	0	6,328	1,035	12,046	9,890	21,936	0	375
14	東中学校	松原337番地	27	22	49	6,672	26	6,698	1,269	12,879	10,553	23,432	0	375
15	楠見中学校	善明寺706番地	16	24	40	6,380	0	6,380	1,064	14,570	18,919	33,489	0	375
16	有功中学校	六十谷1238番地	12	24	36	6,945	0	6,945	1,022	11,540	26,176	37,716	1,767	0
17	貴志中学校	梅原579番地2	21	17	38	6,402	0	6,402	1,277	20,429	35,729	56,158	0	375
計			278	383	661	110,878	428	111,306	20,478	223,593	227,078	450,671	3,396	5,375

【義務教育学校】

番号	校名	所在地	保有教室数			校舎面積(m ²)			屋体面積 (m ²)	校地面積 (m ²)			借地面積 (m ²)	プール 面積 (m ²)
			普通	特教	計	鉄筋	木造	計		運動場	建物敷地	計		
1	伏虎義務教育学校 (前期課程・後期課程)	鷲ノ森南ノ丁1番地	30	25	55	11,694	0	11,694	2,507	16,563	11,495	28,058	0	375

【幼稚園】

番号	園名	所在地	保有教室数			園舎面積(m ²)			校地面積 (m ²)			借地面積 (m ²)
			保育室	遊戯室	計	鉄筋	木造	計	運動場	建物敷地	計	
1	岡山幼稚園	吹上1丁目4番1号	3	1	4	1,313	0	1,313	700	1,708	2,408	0
2	中之島幼稚園	中之島1495番地	3	1	4	961	0	961	0	1,031	1,031	0
3	湊幼稚園	湊2丁目17番40号	3	1	4	829	0	829	540	1,009	1,549	0
4	宮前幼稚園	北中島1丁目7番4号	3	1	4	1,045	0	1,045	466	710	1,176	0
5	西和佐幼稚園	栗栖70番地	3	1	4	721	0	721	955	700	1,655	0
6	加太幼稚園	加太1310番地	2	1	3	485	0	485	503	313	816	0
7	紀伊幼稚園	弘西317番地	3	1	4	951	0	951	0	2,084	2,084	0
8	山口幼稚園	里146番地	1	0	1	413	0	413	0	142	142	565
9	和佐幼稚園	祢宜949番地	3	1	4	818	0	818	878	711	1,589	0
10	西脇幼稚園	西庄1012番地	3	1	4	856	350	1,206	900	2,272	3,172	0
11	雑賀崎幼稚園	西浜1148番地	1	1	2	507	20	527	696	1,181	1,877	0
計			28	10	38	8,899	370	9,269	5,638	11,861	17,499	565

【高等学校】

校名	所在地	保有教室数			校舎面積 (m ²)				屋体面積 (m ²)	校地面積 (m ²)		
		普通	特教	計	鉄筋	木造	その他	計		運動場	建物敷地	計
和歌山市立 和歌山高等学校	全日制	35	26	69	10,193	0	223	10,416	1,697	38,860	10,705	49,565
	定時制	6	2									

学校保健・学校安全

1 学校保健

近年の学校保健教育は、その分野が広範となり、かつ細部にわたる指導と管理の必要性から、各学校の児童生徒の健康状態を把握し、その上に和歌山市の地域性と時代の要望を加味して新しい時代に明るくたくましく生きぬく児童生徒の育成をめざして、次の事業を重点目標にしながら、学校保健に課せられた諸施策の推進をはかっている。

[学校医等の設置状況]

(令和5年度)

	学 校 医	学校眼科医	学校耳鼻科医	学校歯科医	学校薬剤師	計
幼稚園(11園)	12	11	0	11	11	45
小学校(50校)	75	51	51	88	51	316
中学校(17校)	32	18	18	37	18	123
義務教育学校(1校)	4	2	2	5	2	15
高等学校(全・定2校)	3	2	0	3	2	10
計	126	84	71	144	84	509

[児童・生徒の発育] (令和5年度)

体 位

区 分		身 長					体 重					
		本 市				県	本 市				県	
		令和 5年度	平成 25年度	平成 15年度	昭和 45年度	令和 3年度	令和 5年度	平成 25年度	平成 15年度	昭和 45年度	令和 3年度	
男 子	小 学 校	6歳	116.7	116.2	116.2	114.9	116.5	21.6	21.2	21.6	20.2	21.5
		7歳	122.8	122.6	122.2	120.9	122.4	24.4	24.1	24.2	22.8	24.4
		8歳	128.1	128.2	128.1	125.8	128.2	27.7	27.2	27.7	25.3	27.7
		9歳	133.8	133.6	133.2	131.1	133.6	31.4	30.7	30.9	28.0	31.3
		10歳	139.5	138.8	138.8	136.1	139.1	35.3	34.1	34.9	31.5	35.2
		11歳	145.9	145.0	144.9	141.4	145.4	40.0	38.8	39.8	34.9	40.1
	中 学 校	12歳	153.5	152.1	152.2	147.6	152.8	45.7	44.2	45.6	39.9	44.7
		13歳	160.7	159.3	159.7	155.0	159.9	50.7	49.2	50.9	45.1	49.9
		14歳	165.3	164.6	165.1	161.4	165.4	54.1	54.0	55.5	50.6	54.7
女 子	小 学 校	6歳	115.9	115.4	115.6	113.7	115.6	21.1	20.8	21.1	19.5	21.1
		7歳	121.7	121.3	119.5	119.6	121.5	23.8	23.4	23.6	22.1	23.8
		8歳	127.5	127.1	127.4	125.4	127.4	26.9	26.5	26.9	25.0	26.9
		9歳	133.8	133.3	133.3	130.7	133.8	30.5	30.0	30.3	27.6	30.5
		10歳	141.3	140.1	140.1	137.1	141.1	35.4	34.3	34.8	31.9	35.2
		11歳	147.8	146.2	146.9	143.5	147.3	40.5	38.9	39.7	36.5	40.3
	中 学 校	12歳	152.2	151.4	152.1	148.8	151.6	44.8	43.8	45.4	40.9	44.2
		13歳	154.5	154.7	155.3	153.0	154.6	47.1	47.0	48.5	45.0	47.8
		14歳	156.2	156.1	156.8	154.9	156.2	49.8	49.4	53.1	48.8	50.4

[児童・生徒の発育] (令和5年度)

(%)

区分		小 学 校		中 学 校		
		昭和63年度	令和5年度	昭和63年度	令和5年度	
内科の検査	肥満傾向の者	0.02	9.75	1.64	11.45	
	脊柱側弯症の者	0.18	2.20	0.98	4.30	
	心臓疾患異常の者	0.55	0.50	0.68	1.03	
	腎臓疾患の者	0.05	0.04	0.13	0.03	
	ぜんそくの者	0.68	0.51	0.67	0.07	
視力検査	視力	1.0以上の者	79.57	67.62	60.30	52.04
		1.0未満の者	20.43	32.38	39.70	47.96
	眼鏡又はコンタクトレンズ使用の者	3.54	—	15.38	—	
歯科検診	う歯のない者	11.89	90.74	12.06	74.32	
	う歯のある者	処置完了の者	32.40	55.69	50.36	51.75
		未処置のある者	55.72	44.31	37.58	48.25
尿検査	蛋白検出者	1.10	2.74	1.40	6.71	
	糖検出者	—	0.12	—	0.24	
ぎょう虫卵保有者		5.28	—	—	—	

※肥満傾向の者については、平成19年度から「児童生徒の健康診断マニュアル（改訂版）」にもとづいて算出している。

※脊柱側弯症の者については、平成28年度から「児童生徒等の健康診断マニュアル平成27年度改訂」による検査方法で実施した結果である。

※平成30年度の視力検査については眼鏡・コンタクトレンズを使用している者が使用したまま測定した数も含まれている。

※歯科検診については、永久歯のみの調査となっている。

※ぎょう虫卵保有者については、学校保健安全法施行規則一部改正により平成28年度から検査項目が削除された。

2 学校安全

(1) 月別災害発生状況 (令和5年度)

災害発生月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
小学校	49	82	89	54	14	81	91	82	79	51	79	74	825
中学校	36	54	50	49	28	74	77	26	32	53	45	60	584
高等学校	3	5	8	0	2	9	3	1	14	2	1	0	48
幼稚園	0	1	0	2	0	0	4	2	0	1	2	0	12
合計	88	142	147	105	44	164	175	111	125	107	127	134	1,469

(2) 災害発生場所（令和5年度）

場 所		件 数		小学校	中学校	高等学校	幼稚園	合 計	
		件数	割合						
校舎内	教 室	124	15.0%	32	5.5%	1	2	159	10.8%
	廊 下	46	5.6%	23	3.9%	0	0	69	4.7%
	階 段	40	4.8%	8	1.4%	1	0	49	3.3%
	体 育 館	157	19.0%	236	40.4%	20	1	414	28.2%
	そ の 他	22	2.7%	17	2.9%	0	0	39	2.7%
	計	389	47.2%	316	54.1%	22	3	730	49.7%
校舎外	運 動 場 ・ 校 庭	325	39.4%	165	28.3%	9	8	507	34.5%
	体 育 ・ 遊 戯 施 設	8	1.0%	1	0.2%	0	1	10	0.7%
	そ の 他	14	1.7%	12	2.1%	0	0	26	1.8%
	計	347	42.1%	178	30.5%	9	9	543	37.0%
学 校 外	道 路	72	8.7%	32	5.5%	1	0	105	7.1%
	そ の 他	17	2.1%	58	9.9%	16	0	91	6.2%
	計	89	10.8%	90	15.4%	17	0	196	13.3%
合 計		825	100%	584	100%	48	12	1,469	100%

(3) 学校の生活時間別状況 (令和5年度)

時間別		件数		小学校		中学校		高等学校		幼稚園		合計	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
登下校		74	9.0%	32	5.5%	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	107	7.3%
休憩時間中		189	22.9%	36	6.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	225	15.3%
昼食時休憩		141	17.1%	40	6.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	181	12.3%
始業前		50	6.1%	5	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	55	3.7%
授業終了後		30	3.6%	9	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	39	2.7%
ホームルーム・給食		26	3.2%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	27	1.8%
授業中	体育	192	23.3%	158	27.1%	12	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	362	24.6%
	その他の教科	57	6.9%	6	1.0%	2	4.2%	12	100.0%	0	0.0%	77	5.2%
学校行事		19	2.3%	16	2.7%	12	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	47	3.2%
体育行事		5	0.6%	16	2.7%	3	6.3%	0	0.0%	0	0.0%	24	1.6%
クラブ活動		13	1.6%	263	45.0%	18	37.5%	0	0.0%	0	0.0%	294	20.0%
清掃作業		18	2.2%	2	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	20	1.4%
その他		11	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	11	0.7%
計		825	100%	584	100%	48	100%	12	100%	0	0.0%	1,469	100%

(4) 災害の部位別発生状況（令和5年度）

部位 \ 件数	小学校	中学校	高等学校	幼稚園	合計
頭 部	63 7.6%	20 3.4%	4 8.3%	2 16.7%	89 6.1%
顔 面	167 20.2%	47 8.0%	7 14.6%	7 58.3%	228 15.5%
体 幹	68 8.2%	84 14.4%	16 33.3%	0 0.0%	168 11.4%
上 肢	313 37.9%	241 41.3%	12 25.0%	2 16.7%	568 38.7%
下 肢	206 25.0%	187 32.0%	8 16.7%	1 8.3%	402 27.4%
そ の 他	8 1.0%	5 0.9%	1 2.1%	0 0.0%	14 1.0%
合 計	825 100%	584 100%	48 100%	12 100%	1,469 100%

(5) 負傷等の状況（令和5年度）

負傷 \ 件数	小学校	中学校	高等学校	幼稚園	合計
骨 折	216 26.2%	195 33.4%	7 14.6%	2 16.7%	420 28.6%
捻 挫	146 17.7%	118 20.2%	7 14.6%	1 8.3%	272 18.5%
脱 臼	37 4.5%	12 2.1%	3 6.3%	1 8.3%	53 3.6%
挫傷（創）・打撲	347 42.1%	197 33.7%	15 31.3%	7 58.3%	566 38.5%
切創、刺創、 裂創、擦過傷	30 3.6%	6 1.0%	0 0.0%	1 8.3%	37 2.5%
熱傷・火傷	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%
歯 牙 破 折	7 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 0.5%
そ の 他 負 傷	4 0.5%	13 2.2%	1 2.1%	0 0.0%	18 1.2%
そ の 他 疾 病	37 4.5%	43 7.4%	15 31.3%	0 0.0%	95 6.5%
合 計	825 100%	584 100%	48 100%	12 100%	1,469 100%

学 校 給 食

(重点目標)

- 1 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- 2 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- 3 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- 4 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 5 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 6 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- 7 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

1 小学校給食

(令和5年度)

調理方法		学校数	児童数	調理員数	給食費内訳(単独校)
単 独 校		41校	11,686人	45(7)人	主食 66.25円
親子給食受配校		1校	938人	—	パン 57.25円
共 同 調 理 場	第 1	4校	1,361人	—	米飯 72.25円
	第 2	4校	2,045人	—	牛乳 70.84円
合 計		50校	16,030人	45(7)人	おかず 128.50円
					他 9.41円
					計 275 円

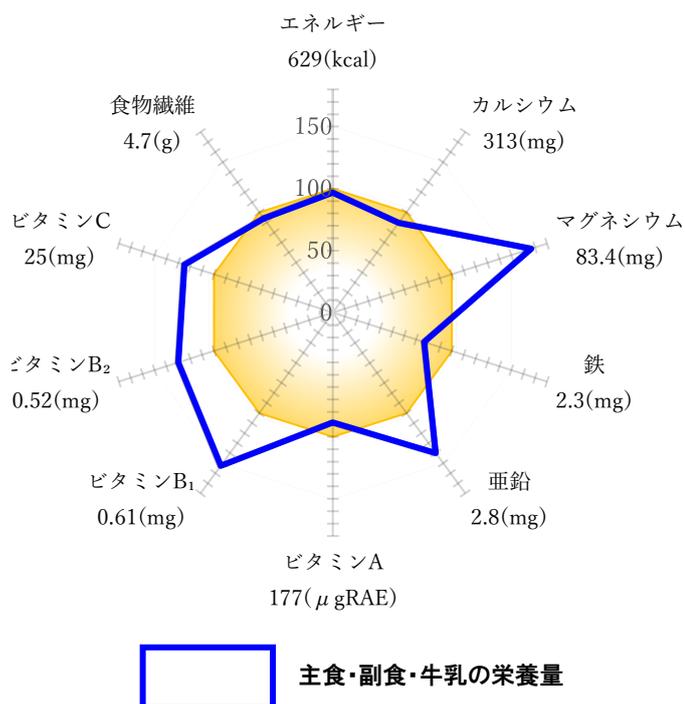
() は会計年度職員・再掲

2 共同調理場概要

名 称	和歌山市立学校給食第一共同調理場	和歌山市立学校給食第二共同調理場	
所 在 地	和歌山市弘西1131番地の1	和歌山市桑山128番地	
開 設 年 月 日	昭和44年4月16日(平成13年4月1日移設)	昭和48年6月25日	
対 象 学 校	紀伊、直川、山口、川永小学校	安原、岡崎、宮前、和佐小学校	
対 象 児 童	1,361人	2,045人	
総 面 積	2,099㎡	1,858㎡	
建 築 面 積	867㎡	661.34㎡	
経 費	土 地	96,513千円	19,673千円
	建 物	371,869千円	42,670千円
	内 部 備 品	90,977千円	17,631千円
	合 計	559,359千円	79,974千円

3 児童の栄養摂取状況

区分	栄養量		充足率 ②÷①× 100(%)
	① 和歌山市 基 準	② 令和5年度 本市摂取量	
エネルギー(kcal)	650	629	97
たん白質(%)	13~20	16.2	—
脂 肪(%)	20~30	29.4	—
カルシウム(mg)	350	313	89
マグネシウム(mg)	50	83.4	167
鉄(mg)	3	2.3	77
亜鉛(mg)	2	2.8	140
ビタミンA(μgRAE)	200	177	89
ビタミンB ₁ (mg)	0.4	0.61	153
ビタミンB ₂ (mg)	0.4	0.52	130
ビタミンC(mg)	20	25	125
食物繊維(g)	5	4.7	94
食 塩(g)	2	2.2	—



4 学校給食の献立ができるまで

名 称	内 容	構成及び担当者
献立原案の作成 及び検討	各ブロックの学校栄養職員が献立原案を作成し、栄養量・使用材料の組み合わせ等を検討する。	学校栄養職員 各ブロック 3～5名
献立作成委員会	献立内容が学校給食の目標に適したものであるよう、栄養、嗜好、経費、衛生、地域性を考慮して、広く学校給食関係者で献立を作成する。	学校栄養職員(担当) 3~5名 保健給食管理課職員 2名 給食主任 3名程度 給食調理員 2名程度
献立表の配布	献立表を印刷し、各学校へ配布する。	保健給食管理課

5 学校給食運営上の組織

和歌山市立学校給食共同調理場運営審議会

(1) 構 成

小学校校長	8名
小学校PTA代表	8名
幼稚園長(専任)	0名
幼稚園PTA代表	4名
学識経験者	若干名

(2) 審議事項

- ・共同調理場の運営に関すること。
- ・その他給食一般に関する必要な事項

6 衛生管理

(1) 市学校薬剤師会による検査

- 施設、設備の衛生検査
- 給食室検査（採光、防そ、防虫、手洗設備）
- 細菌検査（調理台、食器、調理具）
- 食器洗浄度検査（澱粉、脂肪）

(2) 食品の衛生検査

- 食材の細菌検査（年2回）
- 冷凍食品その他食用物資の抜き打ち検査（随時）

(3) 調理員の衛生管理 月2回検便培養検査

(4) 給食施設のふきとり検査（年1回）

7 義務教育学校給食（伏虎）

実施状況（令和5年度）

調理方法	課程	対象児童生徒数	給食費
単独校	前期	541人	275円
	後期	208人	351円

8 中学校給食

(1) 実施状況（令和5年度）

制度	学校数	対象生徒数	給食費
選択制デリバリー方式	16校	6,485人	324円
親子方式	1校	49人	351円
合計	17校		

(2) 和歌山市立中学校給食運営委員会

ア 構成

- 中学校校長（2名）、中学校PTA代表（2名）、小学校校長（2名）、
- 小学校PTA代表（2名）、中学校教諭（2名）、栄養教諭（1名）、学識経験者（2名）、
- 教育委員会事務局（2名）

イ 事務 中学校給食の運営について調査審議し、教育委員会に意見を述べる。

(3) 食品の衛生検査

- 食材の細菌検査（年2回）

学 校 体 育

<目的>

- (1) 生涯にわたり運動・スポーツに親しみ生活を明るく健全で豊かなものにするための態度を育てる。
- ア 運動に関する理解と関心を深め、意欲を喚起し、運動の生活化を図る。
- イ 体育諸活動の機会を拡充し、計画的・継続的实施と運営の合理化を図る。
(学校行事、特活の時間の活用)
- (2) 体力・運動能力の向上を図る。
- ア 児童生徒の体力・運動能力の現状を明確にし(体力・運動能力、運動習慣等調査の実施・分析)、学校教育活動全体計画の上に立った指導方法を策定する。
- イ 体育的環境や教具の整備と工夫によりその活用を図る。
- (3) 学習指導要領に沿った事業内容の充実に向けて、学習内容やその指導法の改善を図るため研究活動を推進する。
- ア 児童生徒が自ら進んで運動に親しむ態度や能力を身につけ、心身を鍛えることができるよう内容の検討を図る。
- イ 実技研修会や授業研究会の開催により指導法の研究を深め、日常実践の効果をあげる。
- ウ 小・中学校体育研究会を中心として、自主研究による研究活動の助長。
- (4) 市教委の委託による研究を推進する。
- ア 小学校3校を体育の授業研究指定校とし、研究を推し進め、市内各小学校の体育学習の質的向上を図る。
- イ 研究指定の期間は2年間とし、学校毎に研究テーマを設ける。

令和6年度中の主な行事

行事名	内容	期日	場所
第77回 和歌山市中学校 総合体育大会 (夏季大会)	野球、卓球、剣道、柔道、陸上、水泳、ソフトボール、バレーボール、サッカー、バスケットボール、テニス、ハンドボール、ソフトテニス、バドミントンの14種目を行う。	6月8日～ 7月24日	市民球場ほか 全14会場
小学校体育 実技研修会	文部科学省実技講習の伝達を兼ねた指導者実技研修会の開催。	8月5日	和歌山大学教育 学部附属小学校
中学校保健体育 学習研修会	職員の研修として、基礎・基本の精選及び指導法の確立について研修会を持つ。	未定	未定

行事名	内容	期日	場所
第77回 和歌山市中学校 総合体育大会 (秋季大会)	野球、卓球、剣道、柔道、陸上、 ソフトボール、バレーボール、サッカー、 バスケットボール、テニス、 ハンドボール、ソフトテニス、 バドミントンの13種目を行う。	9月14日～ 10月14日	市民球場ほか 全13会場
研究指定校 体育研究発表会	市体育研究指定校として、野崎西小、今 福小、中之島小で研究授業を提供すると 共に成果の発表を行う。	11月8日	野崎西小学校 中之島小学校
第77回 和歌山市中学校 駅伝競走大会	市内中学生男女別、男子約20kmを6人 で女子約15kmを5人で走る。	12月7日	紀三井寺陸上 競技場及び その周辺コース

社 会 体 育

高齢化がすすみ自由時間が増えつつある今日、市民のスポーツに対する関心が高まっている。

『いつでも』・『どこでも』・『いつまでも』・『自由な種目』を楽しむことができる世代間交流の場をつくり、生涯スポーツの振興を推進するとともに生きがいのある、活力ある、社会づくりをめざす。

1 重点目標

- (1) 生涯スポーツ活動の普及・振興
- (2) 市民の体力づくり
- (3) スポーツ指導者の育成

2 令和6年度事業内容

- (1) 各種スポーツ大会
- (2) 学校体育施設開放事業

昭和43年より地域のコミュニティスポーツの振興・充実を図るため、学校体育施設を開放している。

(令和6年度開放校)

① 小 学 校

番号	学校名	開放場所	主な種目	番号	学校名	開放場所	主な種目
2	大新	体	バレーボール・よさこい・インディアカ・太極拳・バドミントン・ラグビー・トレーニング・剣道	17	和歌浦	運・体	野球・バレーボール・バスケットボール
3	広瀬	運・体	卓球・バドミントン・野球・新体操・綱引・バスケットボール・バレーボール・バレエ	18	宮前	運・体	バレーボール・卓球・野球・少林寺拳法・バスケットボール・剣道・綱引
4	吹上	運・体	野球・剣道・卓球・バドミントン・ソフトボール・よさこい・バレーボール・シニア体操・バスケットボール	19	湊	運・体	野球・バレーボール・バスケットボール・バドミントン・ストレッチ・エアロビクス
7	砂山	運・体	野球・サッカー・剣道・空手・バレーボール・生涯スポーツ	20	野崎	運・体	野球・剣道・インディアカ・バスケットボール・よさこい・陸上
8	高松	運・体	野球・バドミントン・ソフトボール・よさこい・空手・ドッジボール・バスケットボール・ラグビーフットボール・鼓笛隊	21	三田	運・体	野球・バドミントン・バレーボール・卓球・サッカー・バウンドテニス・バスケットボール・スポーツリズムトレーニング
9	宮北	運・体	サッカー・バレーボール・合気道・ソフトボール・バウンドテニス・野球・卓球・剣道・エクササイズ	22	名草	運・体	野球・バレーボール・ドッジボール・空手
10	新南	運・体	バレーボール・少林寺拳法・野球・新体操・サッカー・スポーツ療育・バレエ	23	松江	運・体	バレーボール・バドミントン・空手・野球・剣道・バスケットボール
11	雑賀崎	運・体	野球・剣道・よさこい・サッカー	24	木本	運・体	バレーボール・サッカー・剣道・空手・野球・ベタンク
12	雑賀	運・体	ソフトボール・バスケットボール・野球・剣道・サッカー・フライングディスク・バレーボール・太極拳	25	貴志	運・体	剣道・バドミントン・インディアカ・空手・野球
13	宮	運・体	サッカー・バレーボール・剣道	26	楠見	運・体	卓球・合気道・サッカー・バレーボール・剣道・野球・ドッジボール・レクリエーション
14	四箇郷	体	ディスコン・ドッジボール・バスケットボール	27	西和佐	運・体	剣道・よさこい・空手・サッカー・卓球
15	芦原	体	バレーボール・インディアカ	28	岡崎	運・体	バレーボール・よさこい・バスケットボール・野球・フットサル
16	中之島	運・体	バレーボール・剣道・バドミントン・よさこい・野球・空手・サッカー・バスケットボール	29	加太	体	リズム体操・バドミントン・スポーツ療育・野球

番号	学校名	開放場所	主な種目	番号	学校名	開放場所	主な種目
30	西脇	運・体	インディアカ・剣道・サッカー・ラグビーフットボール・少林寺拳法	42	今福	運・体	野球・バレーボール・よさこい・剣道・チャンバラ・少林寺拳法
31	有功	運・体	バレーボール・卓球・野球・サッカー・バドミントン・グラウンドゴルフ・ソフトボール・バスケットボール	43	野崎西	運・体	野球・サッカー・バレーボール
32	直川	運・体	バレーボール・野球・剣道・バスケットボール・フットサル	44	鳴滝	運・体	バレーボール・剣道・野球・バスケットボール
33	紀伊	運・体	バレーボール・野球・サッカー・空手・よさこい・体操・バスケットボール	45	四箇郷北	運・体	サッカー・バレーボール・バドミントン・インディアカ・合気道・野球
34	山口	運・体	野球・バレーボール・バドミントン・少林寺拳法	46	福島	運・体	野球・バレーボール・卓球・ソフトボール
35	川永	運・体	バレーボール・剣道・卓球・バドミントン・野球・バスケットボール	47	八幡台	運・体	バレーボール・サッカー・バスケットボール・バドミントン・フットサル
36	和佐	運・体	少林寺拳法・バレーボール・野球・空手・剣道	48	浜宮	運・体	バレーボール・ソフトボール
37	山東	運・体	卓球・カンフー・バスケットボール・鼓笛隊・グラウンドゴルフ・バレーボール	49	楠見西	運・体	バレーボール・合気道・ソフトボール・バスケットボール・サッカー
38	東山東	運・体	野球・バレーボール・インディアカ・カンフー・バスケットボール・グラウンドゴルフ・サッカー・護身術	50	楠見東	運・体	サッカー・体操・バレーボール・よさこい・ソフトボール・バスケットボール・野球
39	安原	運・体	バレーボール・剣道・テニス・サッカー・フットサル・鬼ごっこ・アスレチック	51	貴志南	運・体	バレーボール・空手・サッカー・剣道・野球
40	小倉	運・体	バレーボール・卓球・野球・サッカー・剣道・空手	52	有功東	運・体	バレーボール・バドミントン・インディアカ・卓球・サッカー・グラウンドゴルフ・テニス・バスケットボール
41	太田	運・体	野球・バレーボール・インディアカ・サッカー・バドミントン・ドローン	53	藤戸台	運・体	剣道・合気道・空手・よさこい・バレーボール・野球・バスケットボール・球技・運動教室・サッカー・ドッジボール・スポーツレクリエーション

② 中学校

番号	学校名	開放場所	主な種目	番号	学校名	開放場所	主な種目
1	日進	運・体※	バレーボール・バスケットボール・よさこい・フットサル	11	加太	体	バレーボール・バスケットボール・インディアカ・ボクササイズ・よさこい
3	東和	体	バレーボール・バドミントン・バスケットボール・居合道・健康体操・太極拳・よさこい	12	西脇	体	バレーボール・バスケットボール・インディアカ・よさこい・総合格闘技・剣道・ドッジボール
4	西和	運・体※	バスケットボール・バレーボール・ハンドボール・スポーツ療育	13	紀伊	体	バレーボール・バスケットボール・テニス
5	城東	運・体※	バレーボール・テニス・バスケットボール・よさこい	14	高積	体	バレーボール・バドミントン・バスケットボール・テニス
6	西浜	運・体※	卓球・バレーボール・バスケットボール	15	東	体	バレーボール・バスケットボール・バドミントン・よさこい
7	明和	運・体※	バレーボール・バスケットボール・レクリエーション・インディアカ	16	楠見	体	バレーボール・バスケットボール
8	河北	運・体※	バレーボール・バスケットボール・よさこい踊り	17	有功	体	バレーボール・バスケットボール・よさこい・ダンス
9	河西	運・体※	剣道・バスケットボール・よさこい	18	貴志	体	バレーボール・バスケットボール・剣道
10	紀之川	運・体※	サッカー・バスケットボール・少林寺拳法・ドッジボール・バレーボール				

③ 義務教育学校

番号	学校名	開放場所	主な種目
1	伏虎	運・体	インディアカ・バスケットボール・体操・古武道・バドミントン・よさこい踊り・卓球・サッカー・バレーボール・少林寺拳法・ソフトボール・野球

運は運動場、体は体育館、※は夜間照明施設

3 スポーツ振興に関する団体

(1) 和歌山市スポーツ少年団

昭和39年より、日本スポーツ少年団の目的に従って、少年たちの自由時間活動のスポーツを中心とした方法で、心身の健全育成を目的に活動を行っている。

《種目別加盟団体数》94団体（令和5年度）

・軟式野球	30団体	・剣道	19団体	・サッカー	16団体
・柔道	3団体	・バレーボール	14団体	・スポーツチャンバラ	1団体
・空手	1団体	・少林寺拳法	7団体	・バトントワーリング	1団体
・バドミントン	1団体	・バスケットボール	1団体		

《事業》

スポーツ少年団各種競技大会 交流大会

各種指導者交流会

(2) 和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝大会に和歌山市選手団として参加

社会教育

1 社会教育の目標

- (1) 一人ひとりの生涯の各時期に応じて、自発的学習に努め、自らの能力を積極的に啓発するとともに、地域社会活動へ参加する市民の育成を図る。
- (2) 互いに人権を尊重し、さまざまな人権問題、とくに同和問題の解決に努める市民の育成を図る。
- (3) 和歌山市民であることに誇りをもち、平和で豊かなまちづくりに努める市民の育成を図る。

2 社会教育振興の基本方策

- (1) 指導体制の充実
 - ア 社会教育委員会議の充実
 - イ 社会教育機関の整備
 - ウ 社会教育民間指導者の育成
 - エ 研修機会の拡充とその内容の充実
- (2) 社会教育施設の整備充実
 - ア 中央公民館の整備充実
 - イ 地区公民館の整備充実
 - ウ 地区集会所の整備充実
 - エ 市民図書館の整備充実
 - オ こども科学館の整備充実
 - カ コミュニティセンターの整備充実
 - キ 余裕教室を交流室への整備充実
- (3) 学習機会の拡大とその内容の充実
 - ア 人権・同和教育の充実
 - イ 社会教育施設の機能的な活動の展開
 - ウ 視聴覚教材の充実と活用
 - エ 学校施設等の積極的利用
 - オ 生涯学習推進体制の充実
- (4) 社会教育関係団体の育成
 - ア 青少年団体
 - イ 婦人団体
 - ウ 成人団体

3 事業の概要

- (1) 人権・同和教育

社会教育の全ての分野で、人権・同和教育を強力に推進するとともに、これを中核として真の民主主義が広く市民に定着するように努める。

 - ア 人権講座（全2回）
 - イ 保護者学級（53教室）
 - ウ 人権教育推進事業
 - エ 子ども会活動

子ども会の活動を通じて、他人を思いやる心や人権を大切にする心を育み、差別に負けないで目標に向かって主体的に行動していく力、いわゆる生きる力の育成を図る。

 - ・子ども会の育成と支援

14地区、45単位の子ども会を育成・支援し、自主的な活動を図る。
 - ・野外活動講習会

野外活動をより効果的にするため、指導者に講習や実技を通して知識・技術の習得充実を図る。
 - ・指導者研修会

講演や実践発表を通じて、各子ども会相互の情報交換及び指導者のより一層の意識向上を図る。
 - ・ジュニアリーダー講習会

小学校高学年、中学生に、リーダーとしての自覚と知識・技術の習得を図る。
 - ・青年・シニアスタディ研修会

高校生以上の若青年を対象に、リーダーとしての自覚と知識、同和問題をはじめとしたあらゆる人権問題について現地学習等を通して、正しい理解の習得を行う。
 - オ 留守家庭児童会の育成事業

芦原地区の留守家庭児童を対象に生活習慣や基礎学力を身につけるため、あしのは学級を開設し、育成及び指導を行う。

(2) 青少年教育

地域社会における連帯意識を養うため、組織活動を奨励し、団体、グループ活動を通じて、青少年の健全育成を図る。

- ア ボーイスカウト・ガールスカウト育成事業
- イ 地域活動連絡協議会の指導・養成
- ウ 青年団体協議会の指導・養成
- エ 青年団活動の支援

(3) 女性教育

女性の自発的な学習意欲を助長し、市民、主婦、母親または就労女性として、その資質や能力を向上させるために各種の活動を行う。

- ア 和歌山市婦人団体
- イ 研修
 - ・ 婦人団体リーダー研修
 - ・ 各種研修会へ参加
- ウ 婦人国内研修生派遣
- エ 和歌山市婦人総合体育大会
- オ 女性学級（6学級）
- カ 地域別市民運動実践活動（12地区）
- キ 委託学級発表会（6学級）

(4) P T A活動

会員の資質の向上を図り、自主的な学習意欲を盛り上げる。

- P T A研修会（－資質の向上－）
 - ・ 幼稚園・P T A（講演会1回）
 - ・ 小学校P T A（講演会と6分科会）
 - ・ 中学校P T A（シンポジウム6分科会）

(5) 高齢者教育

高齢者の人口の増大と社会の急激な変容に応じて、高齢者がその年齢にふさわしい社会的能力を高め、積極的な生きがいを求めるための学習の場を提供する。

(6) 家庭教育

家庭教育支援条例に基づき、家庭教育を支援するために必要な人材の育成や連携した活動の促進、相談体制の整備充実等の施策を実施する。

(7) 校区子どもセンター

完全学校週5日制の実施にともない休業土曜日に学校施設を開放し、市内51の小中学校区に「校区子どもセンター運営委員会」を設置し、児童等に自然体験・社会体験等多様な活動機会を提供する。

(8) 学童保育

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している子供に対し、放課後等に小学校の教室等の施設を利用して適切な遊び及び生活の場を与え、子供の状況や発達段階を踏まえながら、その健全な育成を図る。

(9) 和歌山市共育コミュニティ

未来を担う子供たちを豊かに育むため、地域住民が学校を支援する取組をさらに発展させ、学校・家庭・地域が一体となってより効果的に学校支援を行い、教育の充実を図る。

4 生涯学習課の主な事業一覧（令和6年度）

（○印は関係団体及び共催等事業）

月	日	内 容	
4	1 8 2 3	和歌山市婦人団体連絡協議会評議員総会 和歌山市社会教育委員第1回定例会議	○
5	5 9 11,12,18 1 6 1 7 1 7 1 8	第55回和歌山市スポーツ少年団バレーボール大会 公立幼稚園PTA連合会総会 第42回和歌山市スポーツ少年団サッカー大会 第59回婦人国内研修生派遣 地区公民館長会議 和歌山市公民館連絡協議会総会 和歌山ユネスコ協会総会	○ ○ ○ ○ ○
6	中旬～12月 中旬～12月 1 2 2 1 3	公立幼稚園PTA連合会レクリエーション（各園で実施予定） 公立幼稚園PTA連合会 研修会（各園で実施予定） 中学校PTA連合会総会 中央公民館講座「初心者のための資産運用講座」 小学校PTA連合会総会 小学校PTA連合会交流推進部（旧女性部）交流会	○ ○ ○ ○ ○
7	2 9 1 7 1 8 1 9 2 5 2 6 2 8 2 8 下旬～8月	和歌山市中央公民館運営審議会 第73回和歌山市婦人大会 令和6年度和歌山市スポーツ少年団バレーボール交流大会 人権講座（1回目） 和歌山市生涯学習推進協議会 和歌山市社会教育委員第2回定例会議 地区会館連絡協議会理事会 中央公民館夏休み子どもチャレンジ教室（モノづくり） 校区子どもセンター育成事業運営委員等交流会 和歌山市生涯学習推進員研修会	○ ○ ○ ○ ○ ○
8	4 1 9 20,21,27,28 2 3	中央公民館夏休み子どもチャレンジ教室（プログラミング） 中央公民館講座（家族クッキング教室） 和歌山市家庭教育支援サポーター養成講座 和歌山市共育コミュニティ推進本部会議（第1回）	 ○

月	日	内 容	
9	8 29	令和6年度全国スポーツ少年団剣道交流大会和歌山大会和歌山市予選会 中央公民館講座「陶芸教室」	
10	6 14 15 23 27 未定	小学校PTA連合会ソフトボール・バレーボール親睦大会 第61回和歌山市婦人総合体育大会 中央公民館講座（ハロウィンリトミックコンサート2024） 和歌山市公民館振興大会・職員研修会 中央公民館講座（歴史講座（熊野古道）） はたちのつどい代表者会議	○ ○
11	2 26 30 未定 未定	中学校PTA研修会 人権講座（2回目） 小学校PTA連合会「文化的交流事業」 中央公民館講座（笑いヨガ） 親子食育講座	○ ○
12	初旬～2月下旬 未定	書きそんじハガキ回収キャンペーン 中央公民館講座（親子防災クッキング教室）	○
1	5 未定	令和7年（2025年）和歌山市はたちのつどい 親子食育講座	○
2	14～16 22 未定 未定 未定 未定 未定	和歌山市公民館フェスティバル(作品展・実践発表会) 小学校PTA研修会 和歌山市共育コミュニティ推進本部会議（第2回） 和歌山市社会教育委員第3回定例会議 和歌山市家庭教育支援サポーターステップアップ講座 小学校区子どもセンター運営委員会議 中央公民館「リトミックコンサート」	○
3	4 13～15 16	和歌山市婦人団体連絡協議会委託学級発表会 和歌山市市民大学作品展 和歌山市市民大学卒業式・発表会	○ ○ ○

月	日	内 容	
	通年	毎土、日曜日事業情報提供 月1回 東部コミュニティセンター各種主催事業開催 河南コミュニティセンター各種主催事業開催 河西コミュニティセンター各種主催事業開催 河北コミュニティセンター各種主催事業開催 中央コミュニティセンター各種主催事業開催 北コミュニティセンター各種主催事業開催 南コミュニティセンター各種主催事業開催	

5 青少年課の主な事業一覧（令和6年度）

（○印は関係団体及び共催等事業）

月	日	内 容	
4	2 1	和歌山市地域活動連絡協議会総会	○
	2 1	和歌山市子ども会連絡協議会総会	○
	2 7	ボーイスカウト和歌山地区協議会総会	○
5	5	子どもなかよしまつり	○
	1 0	和歌山県地域活動連絡協議会総会・クラブ大会	
	1 5	和歌山市子ども会連絡会総会	○
	1 7	和歌山県子ども会連絡会総会	
	1 9～2 0	青少年育成推進委員会研修会（白浜町）	○
	2 6	和歌山県子ども会連絡協議会総会	
6	7～8	和歌山県子ども会連絡協議会研修会（新宮市）	
	8	「少年メッセージ2024」和歌山市大会	○
	9	和歌山県子ども会連絡会指導者研修会（かつらぎ町）	
	1 5～1 6	和歌山市子ども会連絡協議会ジュニアリーダー講習会(小学生の部)	○
	3 0	和歌山市子ども会連絡協議会野外活動講習会・指導者研修会	○
7	6	和歌山市子ども会連絡会ドッジボール大会	○
	7	親子七夕のゆうべ（紀の川河川敷）	○
	2 9	「少年メッセージ2024」和歌山県大会	○
8	4	和歌山市子ども会連絡協議会ソフト・キックベースボール大会	○
	6～7	和歌山市地域活動連絡協議会子ども体験学習（大阪府立青少年海洋センター）	○
	1 1	和歌山市青少年育成市民会議総会	○
	2 4	和歌山県地域子ども集団親睦交流スポーツ大会（白浜町）	
	未定	和歌山市青少年育成推進員等連絡協議会総会	
9	1 4	和歌山県子ども会連絡協議会インリーダー研修会（東牟婁地方）	○
	未定	和歌山市リーダー力向上講座	○
1 0	3～4	和歌山県子ども会専任職員等研修会（白浜町）	
	2 7	和歌山市地域活動連絡協議会レクリエーション大会	○
1 1	2	和歌山市ワカモノ会議	○
	9～1 0	和歌山市子ども会連絡協議会ジュニアリーダー講習会（中学生の部）	○
	1 6～1 7	和歌山県子ども会連絡協議会高校生・青年リーダー交流会	
	未定	親子ハイキング	○
	未定	和歌山市地域活動連絡協議会地区交流会	○

月	日	内 容	
1	中旬	和歌山市地域活動連絡協議会ファミリー写真コンクール及び写真展	○
	21	近畿地区子ども会大会	
	未定	少年のつどい（中学生対象）	○
	未定	子どもなかよしまつり第1回実行委員会	○
	未定	和歌山市子ども会連絡協議会 青年・シニア研修会	○
2	1～2	和歌山県子ども会指導者研修会（那智勝浦町）	
	15～16	地域組織活動指導者全国大会	
	未定	よい青少年の褒章式	

生涯学習

生涯学習推進の概要

今、余暇時間の増大・高齢化・情報化・国際化が進み、年々市民の学習要求が増大している。

そして、市民各自が学習によって、知識・技能・資格を身につけ、社会に貢献できる希望にみちた生涯学習社会を構築するため、「いつでも、どこでも、だれでも」自由に学習する機会と場所の提供が必要となっている。

そのために和歌山市では、市長を本部長とした和歌山市生涯学習推進本部を組織し、平成3年7月18日に「和歌山市生涯学習都市宣言」が議決された。平成6年3月31日には今後の進むべき方向を示した「和歌山市生涯学習基本構想」が策定され、校区学習圏・ブロック学習圏・全市学習圏の三層の学習圏を構築して、生涯学習とコミュニティの場を体系的に提供する基盤整備に努めている。平成18年3月に、基本構想をより具体化

する「和歌山市生涯学習基本計画」を策定した。平成30年10月に、「和歌山市生涯学習基本構想及び和歌山市生涯学習基本計画」を策定し、生涯学習の一層の振興を図っている。

1 生涯学習推進事業

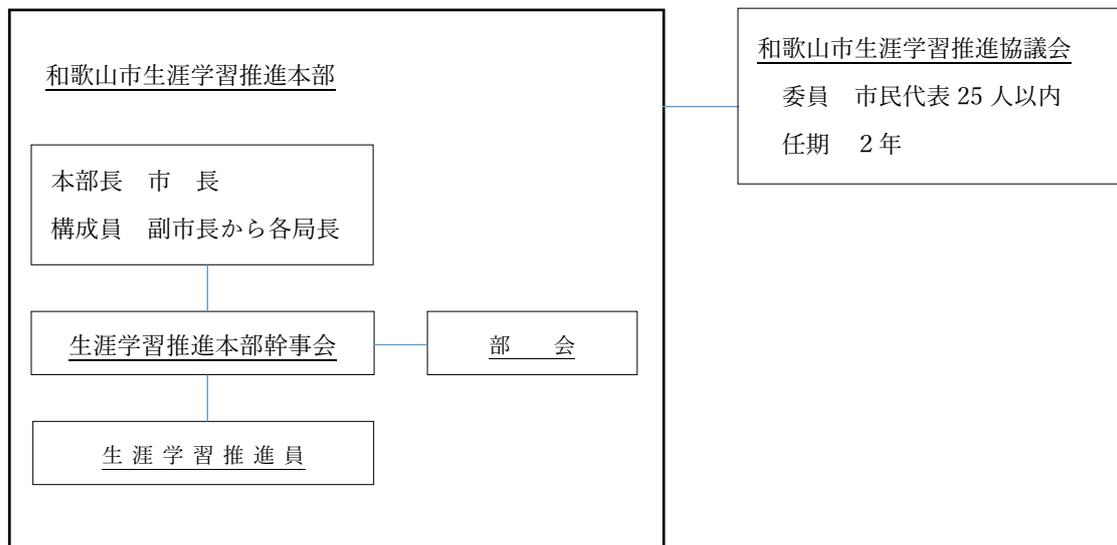
(1) 生涯学習推進体制の整備

- ア 全庁的に生涯学習の推進に取り組む。
- イ 民間の様々な分野の意見を反映できる協議会を設置する。
- ウ 民間教育機関や行政の生涯学習関連施設のネットワーク化を図る。

(2) 学習情報の収集及び提供

- ア 生涯学習人材バンク、生涯学習の講師情報の提供
- イ その他生涯学習施設・事業・資料等の収集と提供。

和歌山市生涯学習推進体制



(3) 生涯学習に関する調査及び研究

- ア 生涯学習推進のための調査・研究
- イ 生涯学習推進員研修会の開催

(4) コミュニティセンターの整備充実

- ア ブロック学習圏の学習拠点として、東部・河南・河西・河北・中央・北・南コミュニティセンターが、各種事業を実施しています。

なお、東部・河南・河西・河北・中央・北コミュニティセンターの管理運営は、指定管理制度を導入しており、指定管理者は（公益財団法人）和歌山市文化スポーツ振興財団です。

- イ コミュニティセンター未設置地域への設置に向け、整備を進めていきます。

(5) その他事業

- ア ユネスコ活動の支援
- イ 土・日曜日事業情報の提供 月1回

2 公民館振興事業

(1) 中央公民館

全市学習圏の拠点として各種学習事業を実施しています。

- ア 自主学習グループの育成
市民成人学校修了者が専門的・継続的に学習できるよう自主学習グループの育成に努めています。

- イ 夏休み子どもチャレンジ教室の開催

- ウ 中央公民館講座の開催

(2) 地区公民館

校区学習圏の中心的拠点として、市内42地区公民館が地域性豊かな活動を展開しています。なお、公民館運営については42地区に事業委託しています。



市民大学

(3) 市民大学の開設

余暇を活用して学習し、心身の健全な安定といきがい創造するとともに、世代間交流を促進することを目的としています。

また、そこで培った技能・技術を生かして地域での交流活動に携わることをめざしています。

講座については、2年コースまたは1年コースの28講座を開設しています。

2年コースの講座は、「初級囲碁、将棋、民踊、コーラス、日本画、園芸、初級社交ダンス、初級俳句、水墨画、初級英会話」の10講座です。

1年コースの講座は、「フラワー、初級書道（かな）、初級書道（漢字）、初級ペン習字、ストレッチ爽体操、太極拳、初心者ワード、初心者エクセル、初級登山、ヨガ、マジック、初級写真、初級手話、応用手話、リンパ改善運動、大正琴、初級川柳、初級詩吟」の18講座です。

事業運営については、和歌山市社会福祉協議会に事業を委託し、会場はあいあいセンターで開催しています。

令和5年度 地区公民館実施事業数等一覧

地区名	実施事業・実施教室数及び参加延人数								計	
	人権同和教育		家庭教育支援		学級開設		学級外開設			
	事業	人数	事業	人数	教室	人数	事業	人数	事業・教室	人数
加太	3	138	1	11	5	596	0	0	9	745
西脇	1	15	2	40	7	6,360	1	500	11	6,915
木本	3	54	1	48	7	1,379	2	415	13	1,896
松江	1	80	1	30	6	860	2	200	10	1,170
貴志	1	28	1	60	6	909	2	88	10	1,085
野崎	1	29	1	9	14	2,729	2	439	18	3,206
湊	1	20	3	68	5	871	2	51	11	1,010
楠見	4	390	1	1,600	11	272	0	0	16	2,262
有功	2	40	2	270	13	5,575	0	0	17	5,885
直川	1	16	3	248	7	1,996	1	200	12	2,460
紀伊	1	30	1	14	8	1,142	2	1,262	12	2,448
川永	1	18	1	15	4	743	3	485	9	1,261
山口	2	48	1	60	10	1,476	4	1,165	17	2,749
西和佐	2	50	1	40	3	629	1	140	7	859
和佐	3	50	5	803	10	2,754	3	260	21	3,867
小倉	2	81	4	429	13	4,938	4	2,445	23	7,893
四箇郷	1	41	2	562	5	1,996	1	60	9	2,659
三田	1	22	1	68	6	1,332	2	27	10	1,449
岡崎	3	33	1	100	6	1,104	2	75	12	1,312
安原	1	20	1	1,250	4	780	1	200	7	2,250
西山東	2	38	2	45	7	1,053	2	96	13	1,232
東山東	2	75	4	2,180	4	822	0	0	10	3,077
宮北	4	139	5	680	7	3,610	0	0	16	4,429
宮	0	0	0	0	5	764	0	0	5	764
宮前	1	11	1	28	5	1,177	2	32	9	1,248
名草	1	14	0	0	5	726	1	19	7	759
和歌浦	1	30	2	200	8	1,508	3	262	14	2,000
雑賀	1	24	3	93	9	1,978	1	21	14	2,116
雑賀崎	2	100	2	120	7	91	1	20	12	331
田野	1	22	2	15	3	268	0	0	6	305
高松	3	43	1	25	5	90	0	0	9	158
吹上	2	62	1	16	10	181	1	83	14	342
砂山	1	200	3	600	6	315	0	0	10	1,115
今福	2	108	1	48	7	1,132	8	335	18	1,623
雄湊	3	149	3	77	5	136	2	1,171	13	1,533
城北	1	22	2	855	5	691	0	0	8	1,568
本町	2	51	1	108	7	1,138	0	0	10	1,297
中之島	1	15	1	20	4	324	1	120	7	479
大新	4	12	1	150	6	1,200	0	0	11	1,362
新南	0	0	0	0	5	730	3	1,040	8	1,770
広瀬	1	4	1	250	5	450	4	720	11	1,424
芦原	1	80	3	32	9	1,401	0	0	13	1,513
合計	71	2,402	73	11,267	284	58,226	64	11,931	492	83,826

(4) その他公民館事業（令和6年度）

- ア 地区公民館長会議 5月17日
- イ 市公民館連絡協議会総会 5月17日
- ウ 第66回和歌山県公民館大会
9月28日
- エ 和歌山市公民館振興大会・職員研修会
10月23日

- オ 第46回全国公民館研究集会奈良大会
第71回近畿公民館大会奈良大会
10月30日
- カ はたちのつどい 1月5日
- キ 和歌山市公民館フェスティバル
作品展 2月14日～16日
実践発表会 2月15日

和歌山市はたちのつどい



公民館フェスティバル（作品展）



公民館フェスティバル（実践発表会）



市民図書館



1 概要

- (1) 所在地 和歌山市屏風丁17番地
- (2) 電話番号 (073) 432-0010
FAX (073) 422-7926
- (3) 開館時間 9時から21時まで
- (4) 休館日 なし
- (5) 開館日 令和元年12月19日

2 趣旨

和歌山市民図書館は、図書館法及び和歌山市民図書館条例により設置された社会教育施設です。南海和歌山市駅前への移転を契機として、新しい図書館の次の6つの目指すものを具体化していきます。

- ①まちの賑わいの拠点となる図書館
- ②すべての市民が利用しやすく、居心地よく滞在できる図書館
- ③新たな利用者呼び込む図書館
- ④郷土の歴史と文化を継承する図書館
- ⑤市民の学びと課題解決の支援を行う図書館
- ⑥まち歩きの拠点となる図書館

3 施設

- ・敷地面積 2,622.98㎡
- ・延床面積 7,597.16㎡
- ・構造 S造 地上6階
一般開架室、有吉佐和子文庫、多目的ルーム
移民資料室、学習室、こどもとしょかん
事務室、閉架書庫

4 資料収集状況

(令和6年3月末現在)

(1) 図書資料(移動図書館を含む)

一般図書	311,412冊
児童図書	159,329冊
郷土資料 (内 行政資料)	36,196冊 (10,475冊)
移民資料	11,696冊
有吉佐和子文庫	4,561冊
計	523,194冊

(2) その他の資料

楽譜資料	777冊
点字資料	427冊
紙芝居	2,682点
レコード	6,542点
コンパクトディスク	4,673点
マイクロフィルム	4,259点
マイクロフィッシュ	407点
官報	1部
新聞	12紙
雑誌	112誌
定期刊行物	4誌
郷土逐次刊行物	519誌

5 利用状況

- ・本館 貸出状況（1日平均）
 - 利用者数 149,989人（411人）
 - 貸出資料数 606,574資料（1,662資料）
- ・団体貸出 20団体 5,551資料
- ・移動図書館 貸出状況（1日平均）
 - 利用者数 13,229人（45人）
 - 貸出資料数 63,790資料（219資料）
- ・相談件数 2,454件
- ・リクエスト件数 231,541件

6 図書館行事（R5年4月～R6年3月）

- ・すくすく赤ちゃんおはなし会 46回 1,222人
- ・ワクワクみんなのおはなし会 40回 1,385人
- ・おはなしだいすきよっといで 12回 465人
- ・語りの森のむかしばなしわらべうた
23回 325人
- ・親と子のおりがみ教室 11回 147人
- ・親子ふれあいリトミック 22回 445人
- ・英語絵本おはなし会 12回 447人
- ・きいちごのおはなし会 2回 32人
- ・きいちご赤ちゃんおはなし会 2回 30人
- ・ビブリオバトル和歌山大会和歌山市予選
1回 62人
- ・本の福袋 1回 250袋
- ・図書リサイクル 1回 440人
- ・2023年「世界紙芝居の日」in 和歌山
1回 11人
- ・声で届ける物語～癒しの時間をえほんの
山で～ 12回 147人
- ・おうまがどきおはなし会 1回 22人
- ・英語であそぼう！～からだをつかって英語を
楽しもう～ 2回 52人
- ・ゆっこりんのおはなし会 2回 67人
- ・飛び出す絵本を作ろう 1回 18人
- ・絵本・紙芝居を楽しむ会 10回 383人
- ・読書速読UP大作戦！～あつまれ！本を早く
読めるようになりたい人！～ 1回 22人

7 移動図書館

くすのき号とほんわか号の2台で巡回。

R6年度 移動図書館巡回スケジュール

曜日	停車場所	停車時間
日	塩屋ポンプ場	14:00～15:00
	高津公園	15:20～16:20
	有功東ニュータウン中央公園	14:00～14:50
	川永団地	15:20～16:20
月	鳴滝小学校	15:20～16:20
	杭の瀬文化会館	13:30～14:30
	芦原小学校	14:50～15:50
火	宮小学校	15:20～16:20
	四箇郷小学校	
水	山口小学校	14:05～15:05
	有功小学校	15:35～16:35
	湊小学校	13:50～14:50
	貴志小学校	15:20～16:20
木	西和佐小学校	15:20～16:20
	四箇郷北小学校	
土	島橋公園	14:00～15:00
	ふじと台パルテノン公園西	15:30～16:30
	加太支所	14:00～15:00
	つつじが丘わんぱく4番児童遊園	15:20～15:50
日	ファミリーマート内原店前	14:00～15:00
	県営住宅三葛団地	15:30～16:20
	太田第一公園	14:00～15:00
	中之島公園	15:20～16:20
月	八幡台小学校	15:20～16:20
	宮北小学校	
火	和歌浦小学校	15:30～16:30
	雑賀崎小学校	15:20～16:20
水	西脇小学校	14:00～15:00
	木本小学校	15:20～16:20
	小倉小学校	14:00～15:00
	紀伊小学校	15:40～16:40
木	宮前小学校	15:20～16:20
	三田小学校	
金	東山東小学校	15:20～16:20
	本渡児童館	15:20～16:20



ほんわか号

市民図書館西分館



1 概要

- (1) 所在地 和歌山市松江775番地の1
河西ほほえみセンター内
- (2) 電話番号 (073) 455-3210
F A X (073) 488-2810
- (3) 開館時間 10時から20時まで
- (4) 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)、
年末年始、特別整理期間
- (5) 開館日 平成29年5月1日

2 施設

- ・敷地面積 8,751.23㎡
(河西ほほえみセンター)
- ・延床面積 459.52㎡ (西分館専有面積)
- ・構造 S造 地上1階
一般開架室、事務室

3 資料収集状況

(令和6年3月末現在)

(1) 図書資料

一般図書	43,879冊
児童図書	32,520冊
計	76,399冊

(2) その他の資料

紙芝居	562点
楽譜資料	62冊
新聞	9紙
雑誌	46誌

4 利用状況

- ・西分館 貸出状況 (1日平均)
利用者数 69,437人 (228人)
貸出資料数 364,673資料 (1,200資料)
- ・団体貸出 2団体 80資料
- ・リクエスト件数 12,917件

5 図書館行事 (R5年4月～R6年3月)

- ・おはなし会 0～2歳 70回 667人
- ・おはなし会 3～6歳 66回 512人
- ・おはなし会 小学生 11回 152人
- ・語りの森のむかしばなし・わらべうた
11回 68人
- ・おはなしグループぶらんこ
「絵本・歌・人形劇」 6回 80人
- ・えいご絵本の読み聞かせ 10回 212人
- ・おはなしだいすきよっといで!
5回 44人
- ・本の福袋 100袋
- ・大人も楽しむわらべうたと絵本
1回 34人
- ・図書館おしごと体験! 4回 18人
- ・本のシェア会 3回 6人

幼児おはなし会



東部コミュニティセンター

1 概要

- (1) 所在地 和歌山市寺内665番地
 (2) 電話番号 (073) 475-0020
 (3) 開館時間 9時から21時30分まで
 ※図書室は10時から20時まで
 (4) 休館日 金曜日
 ※国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときはその翌日。
 年末年始(12月29日～1月3日)
 (5) 敷地面積 10,457.3㎡
 (6) 建築面積 1,116.99㎡
 (7) 延床面積 1,678.49㎡
 (8) 開館日 平成3年9月25日
 (9) 構造規模 鉄筋コンクリート造2階建
 (10) 指定管理者 公益財団法人
 和歌山市文化スポーツ振興財団

2 施設

- 1階 事務室、図書室（一般閲覧室、児童閲覧室、新聞雑誌コーナー）
 調理実習室、和室
 2階 多目的ホール、活動室（大）（中）（小）、会議室
 屋外 多目的広場

3 図書室

蔵書数（令和6年3月末現在）
 一般書 26,768冊
 児童書 16,556冊
 （計） 43,324冊

貸出（令和5年4月～令和6年3月）

貸出人数	一般	14,732人
	児童	1,628人
	（計）	16,380人
貸出資料数	一般書	33,683資料
	児童書	39,120資料
	（計）	72,803資料

4 事業（令和5年度）

おはなしだいすき！よっといで！、ピラティス教室、疲れた身体がよみがえるストレッチ教室、パソコン教室等。

5 利用状況（令和5年度）

月別		多目的ホール	活動室	和室	調理実習室	会議室
4月	件数	53	133	22	58	17
	人数	1,346	1,725	131	615	111
5月	件数	57	111	23	3	16
	人数	1,541	1,486	148	42	86
6月	件数	54	122	25	3	19
	人数	1,217	1,671	170	54	133
7月	件数	63	131	26	0	22
	人数	1,516	1,670	180	0	134
8月	件数	60	123	19	0	23
	人数	2,160	1,539	161	0	150
9月	件数	59	141	22	0	16
	人数	1,444	1,959	158	0	98
10月	件数	57	144	27	2	17
	人数	1,598	1,891	215	60	119
11月	件数	67	168	26	3	30
	人数	2,013	2,123	175	105	192
12月	件数	53	139	31	4	28
	人数	1,606	1,700	206	105	163
1月	件数	51	142	25	3	22
	人数	1,202	2,279	193	59	135
2月	件数	61	152	21	5	23
	人数	1,587	2,149	157	92	138
3月	件数	60	154	32	8	25
	人数	1,710	2,277	264	147	165
計	件数	695	1,660	299	89	258
	人数	18,940	22,469	2,158	1,279	1,624

河南コミュニティセンター

1 概要

- (1) 所在地 和歌山市布施屋41番地
 (2) 電話番号 (073) 477-6522
 (3) 開館時間 9時から21時30分まで
 ※図書室は10時から20時まで
 (4) 休館日 金曜日
 ※国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときはその翌日。
 年末年始(12月29日～1月3日)
 (5) 敷地面積 4,437.76㎡
 (6) 建築面積 1,171.78㎡
 (7) 延床面積 1,775.12㎡
 (8) 開館日 平成7年4月1日
 (9) 構造規模 鉄筋コンクリート造2階建
 (10) 指定管理者 公益財団法人
 和歌山市文化スポーツ振興財団

2 施設

- 1階 事務室、図書室（一般閲覧室、児童閲覧室、新聞雑誌コーナー）
 調理実習室、和室、造形室
 2階 多目的ホール、活動室（大1）（大2）（小）、会議室、保育室

3 図書室

蔵書数（令和6年3月末現在）

一般書 23,254冊
 児童書 15,001冊
 (計) 38,255冊

貸出（令和5年4月～令和6年3月）

貸出人数	一般	7,988人
	児童	1,113人
	(計)	9,101人
貸出資料数	一般書	20,154資料
	児童書	21,380資料
	(計)	41,534資料

4 事業（令和5年度）

たのしい絵本をよむ会、映画会、英語でおはなしタイム、パソコン教室、さわやかピラティス教室等。

5 利用状況（令和5年度）

月別		多目的ホール	活動室	和室	調理実習室	会議室	造形室
4月	件数	43	107	15	10	44	12
	人数	921	1,019	138	121	607	104
5月	件数	52	114	19	6	7	10
	人数	1,048	1,337	163	76	49	80
6月	件数	50	109	12	6	4	8
	人数	1,125	1,126	92	61	29	67
7月	件数	52	106	12	10	4	9
	人数	1,033	1,227	91	135	24	71
8月	件数	48	90	12	5	6	7
	人数	897	862	104	69	43	66
9月	件数	46	108	12	7	5	9
	人数	712	1,133	76	85	28	59
10月	件数	53	104	18	2	5	8
	人数	2,282	1,178	138	17	26	59
11月	件数	56	111	19	6	3	8
	人数	1,472	1,134	243	143	13	52
12月	件数	38	102	19	6	5	6
	人数	762	962	436	61	26	48
1月	件数	40	97	21	7	6	6
	人数	738	997	338	244	45	74
2月	件数	40	102	21	8	8	9
	人数	642	1,026	446	89	31	56
3月	件数	47	96	16	9	8	15
	人数	1,088	944	383	379	30	97
計	件数	565	1,246	196	82	105	107
	人数	12,720	12,945	2,648	1,480	951	833

河西コミュニティセンター

1 概要

- (1) 所在地 和歌山市松江北2丁目
20番7号
- (2) 電話番号 (073) 480-1171
- (3) 開館時間 9時から21時30分まで
- (4) 休館日 金曜日
※国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときはその翌日。
年末年始(12月29日～1月3日)
- (5) 敷地面積 1,336.22㎡
- (6) 建築面積 1,050.23㎡
- (7) 延床面積 2,654.77㎡
- (8) 開館日 平成12年4月15日
- (9) 構造規模 鉄骨ラーメン構造5階建
- (10) 指定管理者 公益財団法人
和歌山市文化スポーツ振興財団

2 施設

- 1階 駐車場、駐輪場
- 2階 事務室、多目的ホール(大)(小)
保育室
- 3階 活動室(大)、調理実習室
- 4階 活動室(小1)(小2)、
和室(1)(2)、音楽室、
交流室(1)(2)(3)

3 事業(令和5年度)

おはなしだいすき!よっといで!、大人の水彩画教室、旅の英会話教室、世界料理紀行、パソコン教室等。

4 利用状況(令和5年度)

月別		多目的ホール	活動室	和室	調理実習室	音楽室
4月	件数	115	111	41	8	42
	人数	2,712	1,144	185	145	177
5月	件数	118	115	39	6	45
	人数	2,646	1,274	200	110	171
6月	件数	119	114	41	5	45
	人数	2,970	1,339	198	90	181
7月	件数	131	118	41	8	48
	人数	3,671	1,225	197	142	201
8月	件数	113	102	36	5	39
	人数	2,447	1,278	165	90	179
9月	件数	124	112	51	9	53
	人数	3,292	1,378	281	150	252
10月	件数	116	116	41	9	47
	人数	2,664	1,553	202	170	217
11月	件数	124	130	51	7	46
	人数	3,291	1,775	258	130	192
12月	件数	100	98	35	8	41
	人数	2,399	1,337	193	121	170
1月	件数	104	111	29	12	38
	人数	2,290	1,563	140	195	169
2月	件数	126	116	38	9	41
	人数	2,860	1,427	211	136	187
3月	件数	115	97	29	7	41
	人数	2,398	1,179	162	130	168
計	件数	1,405	1,340	472	93	526
	人数	33,640	16,472	2,392	1,609	2,264

河北コミュニティセンター

1 概要

- (1) 所在地 和歌山市市小路192番地の3
 (2) 電話番号 (073) 480-3610
 (3) 開館時間 9時から21時30分まで
 ※図書室は10時から20時まで
 (4) 休館日 金曜日
 ※国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときはその翌日。
 年末年始(12月29日～1月3日)
 (5) 敷地面積 7,711.26㎡
 (6) 建築面積 1,569.78㎡
 (7) 延床面積 2,313.20㎡
 (8) 開館日 平成13年4月15日
 (9) 構造規模 鉄筋コンクリート造2階建
 (10) 指定管理者 公益財団法人
 和歌山市文化スポーツ振興財団

2 施設

- 1階 事務室、図書室（一般閲覧室、児童閲覧室、新聞雑誌コーナー）、自習室
 調理実習室、和室、ワークルーム

- 2階 多目的ホール、活動室（大1）（大2）（小）、会議室、保育室

屋外 多目的広場

3 図書室

蔵書数（令和6年3月末現在）

- 一般書 20,444冊
 児童書 15,208冊
 (計) 35,652冊

貸出（令和5年4月～令和6年3月）

貸出人数	一般	16,103人
	児童	1,838人
	(計)	17,941人
貸出資料数	一般書	40,221資料
	児童書	30,674資料
	(計)	70,895資料

4 事業（令和5年度）

絵本・紙芝居おはなしの会、インド式英語で行うサウンドヒーリングヨガ教室、はじめての陶芸教室、パソコン教室等。

5 利用状況（令和5年度）

月別		多目的ホール	活動室	和室	調理実習室	会議室	ワークルーム
4月	件数	67	145	38	62	38	79
	人数	2,193	1,710	490	650	295	3,685
5月	件数	70	136	30	12	32	41
	人数	2,447	1,601	384	190	258	873
6月	件数	62	128	33	10	41	31
	人数	2,266	1,472	472	143	326	889
7月	件数	62	132	25	13	33	37
	人数	2,001	1,481	333	166	238	905
8月	件数	54	129	23	12	31	47
	人数	1,548	1,438	323	188	248	950
9月	件数	59	138	26	11	36	44
	人数	2,469	1,750	418	198	292	794
10月	件数	73	147	28	5	38	37
	人数	2,222	1,626	397	65	270	783
11月	件数	74	165	35	14	43	45
	人数	3,179	2,539	396	117	363	846
12月	件数	54	119	27	8	29	31
	人数	1,770	1,371	341	98	220	597
1月	件数	41	122	24	9	33	38
	人数	2,017	1,479	289	113	266	860
2月	件数	14	152	29	17	37	42
	人数	460	1,826	428	292	315	965
3月	件数	62	145	26	9	40	42
	人数	2,627	1,866	327	137	314	1,048
計	件数	692	1,658	344	182	431	514
	人数	25,199	20,159	4,598	2,357	3,405	13,195

中央コミュニティセンター

1 概要

- (1) 所在地 和歌山市三沢丁1丁目2番地
- (2) 電話番号 (073) 402-2678
- (3) 開館時間 9時から21時30分まで
※図書室は10時から20時まで
- (4) 休館日 月曜日
※国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときはその翌日。
年末年始(12月29日～1月3日)
- (5) 敷地面積 4,205.85㎡
- (6) 建築面積 1,127.14㎡
- (7) 延床面積 2,303.36㎡
- (8) 開館日 平成14年4月15日
平成16年4月11日(増築)
- (9) 構造規模 鉄筋・鉄骨コンクリート造
セメント瓦葺陸屋根3階建
(一部鉄筋コンクリート造
カラスステンレス葺2階建)
- (10) 指定管理者 公益財団法人
和歌山市文化スポーツ振興財団

2 施設

- 1階 事務室、図書室(一般閲覧室、児童閲覧室、新聞雑誌コーナー)
多目的ホール(小)、和室(小)
- 2階 活動室(1)(2)(3)(4)(5)
(6)、和室(大)、調理実習室
- 3階 多目的ホール(大)

3 図書室

蔵書数(令和6年3月末現在)

- 一般書 20,980冊
児童書 13,031冊
(計) 34,011冊

貸出(令和5年4月～令和6年3月)

貸出人数	一般	35,269人
	児童	4,496人
	(計)	39,765人
貸出資料数	一般書	97,313資料
	児童書	66,872資料
	(計)	164,185資料

4 事業(令和5年度)

紙芝居とよみかたりの会、インターネットパソコン講座、フラワーアレンジメント教室、夏休み親子で折り紙教室等。

5 利用状況(令和5年度)

月別		多目的ホール	活動室	和室	調理実習室
4月	件数	101	372	75	17
	人数	3,806	4,343	708	223
5月	件数	100	338	80	20
	人数	3,993	3,878	722	244
6月	件数	98	366	82	21
	人数	3,958	4,150	769	292
7月	件数	103	349	73	22
	人数	3,935	4,006	668	348
8月	件数	86	329	75	23
	人数	3,286	3,800	652	296
9月	件数	117	364	72	28
	人数	5,532	4,141	726	335
10月	件数	105	360	84	25
	人数	4,550	4,204	791	326
11月	件数	110	358	91	28
	人数	7,948	4,664	1,058	432
12月	件数	86	300	72	25
	人数	3,693	3,330	705	318
1月	件数	85	313	70	17
	人数	3,133	3,406	565	227
2月	件数	91	355	70	28
	人数	3,488	4,028	587	390
3月	件数	117	364	82	20
	人数	5,194	4,205	678	286
計	件数	1,199	4,168	926	274
	人数	52,516	48,155	8,629	3,717

北コミュニティセンター

1 概要

- (1) 所在地 和歌山市直川326番地の7
(和歌山市さんさんセンター紀の川内)
- (2) 電話番号 (073) 464-3031
- (3) 開館時間 9時から21時30分まで
※図書室は10時から20時まで
- (4) 休館日 金曜日
※国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときはその翌日。
年末年始(12月29日～1月3日)
- (5) 敷地面積 10,946.02㎡
- (6) 建築面積 2,247.70㎡
(さんさんセンター紀の川)
- (7) 延床面積 2,987.01㎡
(さんさんセンター紀の川)
- (8) 開館日 平成23年5月2日
- (9) 構造規模 鉄骨造2階建
- (10) 指定管理者 公益財団法人
和歌山市文化スポーツ振興財団

2 施設

- 1階 事務室、図書室（一般閲覧室、児童閲覧室、新聞雑誌コーナー）、自習室、保育室、授乳室、活動室（大2）（中）、和室、調理実習室、ワークルーム
- 2階 多目的ホール（1）（2）（3）（4）、活動室（大1）（小）

3 図書室

蔵書数（令和6年3月末現在）

- 一般書 25,777冊
児童書 15,386冊
(計) 41,163冊

貸出（令和5年4月～令和6年3月）

貸出人数	一般	29,475人
	児童	3,871人
	(計)	33,346人
貸出資料数	一般書	79,589資料
	児童書	79,260資料
	(計)	158,849資料

4 事業（令和5年度）

紙芝居、絵本よみかたりの会、パソコン教室、はじめてのパンづくり教室、健康体操教室等。

5 利用状況（令和5年度）

月別		多目的ホール	活動室	和室	調理実習室	ワークルーム
4月	件数	200	251	20	61	44
	人数	3,609	2,454	205	600	382
5月	件数	213	251	21	36	47
	人数	4,382	2,588	197	407	392
6月	件数	223	238	23	20	51
	人数	4,747	2,238	191	272	437
7月	件数	241	251	30	20	46
	人数	4,865	2,707	319	395	432
8月	件数	240	245	32	24	36
	人数	5,001	2,565	320	366	314
9月	件数	233	250	29	24	46
	人数	5,082	2,842	349	380	439
10月	件数	274	260	29	31	51
	人数	6,808	3,250	378	535	571
11月	件数	248	261	25	23	51
	人数	5,367	3,199	311	390	514
12月	件数	162	216	26	25	42
	人数	3,393	2,441	330	393	397
1月	件数	194	213	25	19	44
	人数	4,076	2,714	290	247	361
2月	件数	223	246	30	33	44
	人数	5,804	3,043	394	439	502
3月	件数	207	247	25	29	37
	人数	3,941	2,842	315	464	355
計	件数	2,658	2,929	315	345	539
	人数	57,075	32,883	3,599	4,888	5,096

南コミュニティセンター

1 概要

- (1) 所在地 和歌山市紀三井寺856番地
 (2) 電話番号 (073) 494-3755
 (3) 開館時間 9時から21時30分まで
 ※図書室及びコミュニティスペースは10時から20時まで
 (4) 休館日 水曜日
 ※国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときはその翌日。
 年末年始(12月29日～1月3日)
 (5) 敷地面積 2,246.51㎡
 (6) 建築面積 1,311.43㎡
 (7) 延床面積 3,817.05㎡
 (8) 開館日 平成30年5月28日
 ※図書室及びコミュニティスペースは令和5年4月28日
 (9) 構造規模 鉄筋コンクリート造5階建
 一部6階

2 施設

- 1階 事務室、展示コーナー、図書室（一般閲覧室、児童閲覧室、新聞雑誌コーナー）
 2階 自習室、自習コーナー、子育て交流室、コミュニティスペース
 3階 活動室（中1）（中2）、活動室（小1）（小2）（小3）
 4階 活動室大、活動室（小4）（小5）、和室
 5階 多目的ホール

3 図書室

蔵書数（令和6年3月末現在）
 一般書 14,762冊
 児童書 9,614冊
 （計） 24,376冊

貸出（令和5年4月～令和6年3月）

貸出人数	一般	4,675人
	児童	928人
	（計）	5,603人
貸出資料数	一般書	12,405資料
	児童書	12,995資料
	（計）	25,400資料

4 事業（令和5年度）

英会話教室、むかしばなし・わらべうた、健康いきいき体操等。

5 利用状況（令和5年度）

月別		多目的ホール	活動室	和室
4月	件数	22	253	6
	人数	750	5,226	30
5月	件数	23	145	8
	人数	1,320	1,798	37
6月	件数	24	167	9
	人数	1,330	2,136	50
7月	件数	29	174	14
	人数	1,390	2,031	108
8月	件数	34	140	8
	人数	1,465	1,793	31
9月	件数	33	193	12
	人数	2,446	1,958	63
10月	件数	45	207	18
	人数	1,715	2,718	105
11月	件数	48	199	16
	人数	3,146	2,459	109
12月	件数	36	157	9
	人数	1,766	1,938	48
1月	件数	26	176	12
	人数	1,081	2,473	86
2月	件数	34	201	16
	人数	1,810	2,583	86
3月	件数	26	193	7
	人数	1,574	2,703	46
計	件数	380	2,205	135
	人数	19,793	29,816	799

和歌山市立青少年国際交流センター



(青少年国際交流センター外観)

1 概要

- (1) 所在地 和歌山市加太1907-2
- (2) 電話番号 (073)459-2107
- (3) 休所日 月曜日(祝日の場合、翌日。
7月・8月を除く。)、
年未年始(12月29日～1月3日)
- (4) 敷地面積 約18.8万㎡
- (5) 指定管理者 加太まちづくりグループ

2 趣旨

少年に自然の環境の中での集団宿泊生活を通じて自然の探求その他の活動を行わせることにより、少年の情操や社会性を豊かにし、もって少年の健全な育成を図る。また、青年が自然環境の中での集団宿泊生活を通じて生涯学習活動を行い、自己の人格を磨き、豊かな生活を営めるようにすることを目的として設置された社会教育施設です。

3 施設概要

- (1) 主な内容
 - ・宿泊室 22室
 - ・定員 132人
 - ・大・小浴室 各1室
 - ・ユニットシャワー男女 各2
 - ・分割可能な研修室 1室
 - ・会議室 2室
 - ・和室 1室
 - ・ミーティングルーム 1室
 - ・天体観測場、多目的トイレ、食堂、
コインランドリー、屋外炊飯場
- (2) 管理棟(2階建て)
 - ・構造 R C造、一部鉄骨造
 - ・建築面積 938.04㎡
 - ・延床面積 1,284.16㎡
- (3) 宿泊棟(2階建て)
 - ・構造 木造、一部鉄骨造
 - ・建築面積 830.98㎡
 - ・延床面積 1,436.02㎡
- (4) 野外施設
 - ア キャンプ場
 - ・敷地面積 2,100㎡
 - ・宿泊定員 80人
 - イ つどいの広場
 - ウ 家族の広場

4 利用案内

(1) 対象

従来の集団宿泊生活を通じ自然の探求活動を行う小中学生の団体等に加え、スポーツ合宿、国際交流活動、文化・芸術などの生涯学習活動を行う全ての世代の団体が対象です。

(2) 予約方法

センターに電話で、利用予定日・人数・利用目的等をお知らせください。

(3) 利用料金

ア 主たる構成員が中学生までで、学習活動をする場合

種別	単位	市内の小中学生	市外・引率者
施設利用料（宿泊使用者）	1人1泊につき	500円	1,010円
施設利用料（日帰り使用者）	1人につき	250円	500円
キャンプサイト使用料	1人につき	150円	300円
炊飯場使用料（日帰り使用者）	1人につき	100円	200円

イ 主たる構成員が高校生以上の場合

種別	単位	区分	高校生等	高校生等以外
施設利用料(宿泊使用者)	1人1泊につき	市内	1,010円	1,520円
		市外	2,030円	3,050円
施設利用料（日帰り使用者）	1人につき	市内	500円	760円
		市外	1,010円	1,520円
キャンプサイト使用料	1人につき		300円	450円
炊飯場使用料（日帰り使用者）	1人につき		200円	300円

※食事の提供を希望される場合は、宿泊費以外に別途費用がかかります。

5 利用状況

令和5年度 利用者

	小中学生		高校生等		大人		小計		合計
	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	
4月	35	10	27	12	30	9	92	31	123
5月	554	6	0	0	138	7	692	13	705
6月	683	0	1	0	109	0	793	0	793
7月	183	209	2	1	153	105	338	315	653
8月	117	133	10	17	153	171	280	321	601
9月	199	125	0	2	72	84	271	211	482
10月	431	98	6	2	98	62	535	162	697
11月	526	0	11	0	226	10	763	10	773
12月	318	28	28	6	41	17	387	51	438
1月	0	0	0	0	12	3	12	3	15
2月	0	36	0	36	6	18	6	90	96
3月	25	73	3	2	10	40	38	115	153
合計	3,071	718	88	78	1,048	526	4,207	1,322	5,529
	3,789		166		1,574				

要 覧 卷 末 資 料

歴代の教育委員・教育長

●教育委員会法（昭和23.7.15公布）による委員（◎印は市会議員）

和 中 貞 夫	S27. 11. 01～S29. 12. 18
辻 川 ちやう	S27. 11. 01～S34. 09. 30
南 方 徳 夫	S27. 11. 01～S31. 09. 30
岡 崎 政 雄	S27. 11. 01～S31. 09. 30
◎高 木 確	S27. 11. 01～S28. 07. 01
坂之上 好 幸	S27. 11. 01～S29. 02. 16
◎奥 野 亮 一	S28. 07. 02～S30. 07. 13
梅 本 新十郎	S29. 04. 01～S31. 09. 30
山 田 利 二	S30. 07. 14～S31. 09. 30
原 田 敏 視	S30. 07. 14～S31. 09. 30

●地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31.6.30公布）による委員

金 森 義 雄	S31. 10. 01～S34. 09. 30	S34. 10. 21～S38. 10. 20	S39. 04. 01～S43. 03. 31
井 本 誓 順	S31. 10. 01～S37. 09. 30	S37. 11. 03～S41. 11. 02	S42. 01. 01～S49. 12. 31
村 松 幸 円	S31. 10. 01～S32. 09. 30		
辻 川 ちやう	S31. 10. 01～S38. 10. 08		
梅 本 新十郎	S31. 10. 01～S39. 09. 30	S39. 10. 11～S41. 12. 31	
中 谷 長 蔵	S32. 12. 25～S36. 12. 24		
内 藤 俊 彦	S37. 03. 30～S41. 03. 29	S41. 10. 13～S49. 10. 12	
三 井 静 子	S39. 04. 01～S39. 09. 30	S40. 06. 30～S41. 12. 01	
月 沢 秀 司	S42. 01. 01～S44. 06. 29	S44. 10. 18～S48. 10. 17	S48. 10. 22～S52. 10. 21
稲 垣 優	S42. 04. 01～S54. 03. 23		
垣 内 佳太郎	S43. 10. 01～S51. 09. 30		
三 好 晴 之	S49. 12. 19～S53. 12. 18	S53. 12. 28～S59. 06. 08	
竹 中 泰 三	S50. 03. 24～S62. 03. 23		
竹 下 正	S51. 10. 01～S61. 12. 26		
石 垣 勝 二	S54. 07. 02～H04. 09. 30		
高 木 秀 夫	S56. 10. 22～S62. 08. 06		
黒 田 健 雄	S59. 07. 19～H02. 12. 27		
玉 井 千 夫	S62. 03. 02～H07. 03. 31		
岩 橋 延 直	S62. 03. 24～H10. 11. 25		
山 本 光 彌	S63. 01. 12～H17. 10. 21		
松 田 禎 郎	H02. 12. 28～H14. 12. 27		
浅 井 周 英	H04. 10. 01～H08. 02. 26		
坂 口 全 彦	H07. 04. 01～H11. 01. 21		
竹 内 巳喜男	H08. 02. 27～H16. 07. 03		
山 口 喜一郎	H11. 02. 16～H16. 07. 03		
室 みどり	H11. 03. 29～H28. 11. 30		
宮 崎 恭 子	H14. 12. 28～H22. 12. 27		
中 村 裕	H16. 07. 04～H28. 09. 30		
空 光 昭	H16. 07. 04～H19. 07. 31		

中 迫 廣	H17. 10. 22～H29. 10. 21
大 江 嘉 幸	H19. 08. 01～H24. 09. 30
金 田 典 子	H22. 12. 28～H26. 12. 27
原 一 起	H24. 10. 01～H28. 09. 30
金 子 富貴子	H26. 12. 28～H30. 12. 27
藤 本 禎 男	H28. 10. 01～現在
森 崎 陽 子	H28. 12. 15～現在
波 床 昌 則	H29. 10. 22～現在
打 田 雅 子	H30. 12. 28～R04. 12. 27
石 元 和 代	R04. 12. 28～現在

●歴代委員長

和 中 貞 夫	S27. 11. 01～S29. 12. 18
辻 川 ちやう	S29. 12. 27～S30. 11. 05 S34. 10. 01～S34. 11. 10
岡 崎 政 雄	S30. 11. 06～S31. 07. 03
原 田 敏 視	S31. 07. 04～S31. 09. 30
金 森 義 雄	S31. 10. 01～S34. 09. 30 S34. 11. 11～S38. 10. 20
内 藤 俊 彦	S38. 10. 21～S41. 03. 29 S41. 11. 03～S49. 10. 12
井 本 誓 順	S41. 04. 02～S41. 10. 02
垣 内 佳太郎	S49. 10. 17～S51. 09. 30
竹 下 正	S51. 10. 01～S61. 12. 26
玉 井 千 夫	S62. 03. 02～H07. 03. 31
坂 口 全 彦	H07. 04. 01～H08. 02. 26
竹 内 巳喜男	H08. 02. 27～H16. 07. 03
中 村 裕	H16. 07. 04～H28. 09. 30

●教育長

坂之上 好 幸	S27. 11. 01～S29. 02. 16
梅 本 新十郎	S29. 04. 01～S41. 12. 31
稲 垣 優	S42. 04. 01～S54. 03. 23
石 垣 勝 二	S54. 07. 02～H04. 09. 30
浅 井 周 英	H04. 10. 01～H08. 02. 26
坂 口 全 彦	H08. 02. 27～H11. 01. 21
山 口 喜一郎	H11. 02. 16～H16. 07. 03
空 光 昭	H16. 07. 04～H19. 07. 31
大 江 嘉 幸	H19. 08. 01～H24. 09. 30
原 一 起	H24. 10. 01～R01. 09. 30
富 松 淳	R01. 10. 03～R03. 02. 23
阿 形 博 司	R03. 02. 27～現在

社会教育委員

令和6年8月現在

社会教育委員	(12名)
岩橋延直	公民館連絡協議会
上野山裕士	学識経験者
芝田史仁	学識経験者
谷澤輝也	和歌山青年会議所
寺上円女	小学校長会
中谷章	小学校PTA連合会
藤村利行	学識経験者会
溝渕俊二	中学校長会
宗真紀子	婦人団体連絡協議会
柳瀬芳昭	人権委員
山本美保	子ども会連絡会
吉橋健一	中学校PTA連合会

生涯学習課・青少年課の関係機関団体

令和6年8月現在

名称	会(団)長名	単位団体数	会(団)員数
和歌山市婦人団体連絡協議会	宗真紀子	12	1,036
和歌山市小学校PTA連合会	中谷章	50	16,348
和歌山市中学校PTA連合会	吉橋健一	19	7,447
和歌山市公立幼稚園PTA連合会	大北満菜美	9	344
和歌山市立和歌山高等学校育友会	藪内勝文	1	757
和歌山ユネスコ協会	芝本和己	1	50
和歌山市公民館連絡協議会	岩橋延直	43	996
和歌山市子ども会連絡協議会	西畑徹	45	1,036
和歌山市地域活動連絡協議会	山本美保	32	1,082
ボーイスカウト和歌山地区協議会	矢田嘉秀	7	297
ガールスカウト和歌山地区協議会	奥山宏子	2	144

和歌山市同和教育方針

和歌山市教育委員会

わが国には、封建社会において形成された部落差別が、現在もなお偏見や差別意識として残存し、近年では匿名性、情報発信の容易さを悪用したインターネット上での人権侵害も発生している。

人はみな法のもとに平等であり、基本的人権は侵すことのできない権利である。

にもかかわらず、差別により市民的権利や自由が侵害され、今日においても、就職や結婚等における差別や教育の問題など、解決すべき課題が残っている。

このことは、人間の自由と平等にかかわる重大な問題であり、行政の責務として、また市民の課題として、速やかに解決を図らなければならない。

和歌山市教育委員会は、「部落差別の解消の推進に関する法律」の理念にのっとり、同和問題（部落差別）の根本的解決に果たす教育の使命を自覚し、憲法及び教育基本法に基づき、同和教育方針を次のように定める。

- 1 真理と正義を愛し基本的人権を尊重して、同和問題（部落差別）の本質を認識し、自らの課題として、積極的に部落差別をなくする市民を育成する。
- 2 学校教育にあっては、情操・意思・知性を育て、身体を鍛えて自己の課題に挑む学力と態度を身につけ、人間の尊厳について体得させるとともに、同和問題（部落差別）を正しく理解させる。
特に地域の実情や児童生徒の実態を把握し、実力を養い、進路指導を充実する。
- 3 社会教育にあっては、系統的継続的な研修を促進するとともに、社会連帯意識をたかめ、日常生活実践を通じて偏見を取り除き、部落差別の根絶に努める。
特に地域の実態に即し、社会教育を総合的に振興する。
- 4 家庭教育にあっては、家庭を取り巻く学校、地域住民その他行政機関など、社会全体が一体となって家庭教育を支援し、正義感、倫理観、思いやりの心など豊かな人間性を家庭で育むことに努めることで同和問題（部落差別）解決の素地を養う。
- 5 差別問題に対しては、教育の立場から主体的に取り組み、同和教育を一層前進させる機会とする。

本方針の実施にあたり、指導者の育成や教育環境の整備等に努めることはもちろん、関係機関・団体の連携を密にして、市民の連帯を深め、力を結集し、部落差別解消への明るい展望をもって、推進することを期するものである。

和歌山市教育委員会沿革

昭和 27.10.05	教育委員会法（昭和23.7.15公布）により市教育委員会委員公選
11.01	市教育委員会設置、事務局（総務課・指導課・社会教育課）設置
28.04.01	本町・大新・宮前幼稚園を28年度内に市立幼稚園に移管
11.01	総務課を学事課と改称、総務課を設置
29.01.01	教育給与三本だて施行
04.01	紀之川中学校開校（伏虎中学校より分離）
04.01	芦原幼稚園開園
09.20	事務局を西汀丁に置く
30.02.18	（旧）市民会館に中央公民館を開館
04.01	西和佐幼稚園、西和佐・岡崎小学校を和歌山市へ編入
31.04.01	和佐・西山東・西脇幼稚園、安原・東山東・山東・和佐・西脇小学校を和歌山市へ編入
10.01	地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31.6.30公布）により教育委員任命
32.03.09	市立和歌山商業高等学校（全日制）開校（従来からの定時制課程と併置）
12.15	大谷古墳発掘開始
33.03.28	県教委勤務評定条例制定
04.01	加太幼稚園、有功・直川・川永・小倉・加太小学校を和歌山市へ編入
06.05	市教組勤務評定反対の10割休暇闘争実施
34.04.01	紀伊・山口幼稚園、山口・紀伊小学校を和歌山市へ編入
12.16	市立学校管理規則制定
35.04.01	東中学校開校（安原・岡崎・山東・東山東の四中学校統合）
09.01	市立和歌山商業高等学校今福に新築移転
10.11	県教委人間尊重教育（同和教育）実施上の留意点を通達
36.04.01	有功小学校・紀伊中学校有功ヶ丘学園分校開校
10.26	中学校一斉学力調査（和教祖反対闘争）
12.03	青年の家開所
37.04.01	雑賀小学校・西浜中学校愛徳分校開校
04.01	雑賀崎小学校新校舎（西浜1148番地）へ移転
38.04.01	宮小・日進中学校虎伏分校開校
39.04.01	加太小学校大川分校休校
08.12	学事課を委員会室に、指導課を学校教育課に改称、保健体育課を設置
40.04.01	少年補導センター開所
41.03.28	勤評行政処分について、県教委と和教祖が和解
03.30	文化財保護条例制定
03.31	鳴神会館開館
42.03.29	和歌山市教育功労者表彰制度制定
03.31	岩橋会館開館・本渡会館開館
08.01	日・宿直代行員制度実施（県教委）
43.03.30	大垣内会館開館

昭和 43.06.01	小・中学校の土・日曜日の宿直廃止
44.03.31	弘西会館開館
04.01	小・中学校の宿直廃止、警備員配置
04.01	太田小学校開校（宮小学校より分離）
04.16	学校給食共同調理場開場（昭和48.6.25から第一共同調理場と改称）
07.10	同和対策事業特別措置法公布
45.03.30	市小路会館開館
07.15	市立和歌山商業高等学校六十谷に新築移転
08.01	全国高校総合体育大会を本市で開催
11.04	市立松下体育館開館
46.03.20	市民スポーツ広場開場
03.31	東田中会館開館
04.01	今福小学校開校（砂山小学校より分離）
04.01	市立雑賀崎幼稚園開園
05.08	教育文化センター開設（市教育委員会事務局併置）
09.04	第26回国民体育大会夏季大会開催
10.14	第26回国民体育大会秋季大会開催
47.03.31	栄谷会館開館
04.01	野崎西小学校開校（野崎小学校より分離）
04.01	ことばの教室開設（城北小）
48.03.09	市立和歌山商業高等学校に商業デザイン科設置
03.31	口須佐会館開館
04.04	委員会室を総務課に、総務課を施設課に改称
06.25	学校給食第二共同調理場開場
12.21	県同和教育基本方針発表
49.05.02	少年自然の家開所
09.15	第1回市民大運動会開催
10.16	上野会館開館
50.03.31	有功小・紀伊中学校有功ヶ丘学園分校を廃止し、県立学校へ移管
12.07	宇田会館開館
51.03.01	小・中・高校の主任制について（県教育長談話）
04.01	市役所新庁舎完成に伴い事務局の移転（教育文化センターより）
12.17	郷土資料室開室（旧庁舎の一部を使用）
52.03.28	出水会館開館
06.01	学校体育施設開放（夜間）
11.19	第1回市和商デパート開催
53.06.01	市立市民体育館開館
54.03.15	市立和歌山商業高等学校電算機導入
04.01	鳴滝小学校・四箇郷北小学校開校（有功小学校及び四箇郷小学校より分離）
07.05	（新）市民会館開館
55.01.01	第1回新春つれもて走ろう大会開催

昭和 55.03.03	和歌山市同和教育方針発表
04.01	福島小学校（野崎小学校より分離）・高積中学校（河南中・小倉中を統合）開校
09.28	第1回青年祭開催
56.03.31	高松小学校あおい学園分校廃止
04.01	八幡台小学校開校（木本小学校及び西脇小学校より分離）
04.01	ことばの教室開設（吹上小）
05.05	こども科学館開館
07.27	第23回全国自然公園大会開催（加太）
07.28	市民図書館開館
09.10	小学校で米飯給食開始
57.01.18	市民テニスコート開場
04.01	浜宮小学校・楠見中学校開校（名草小学校及び伏虎中学校より分離）
04.01	宮小学校・西脇中学校新校舎へ移転
58.02.06	こども科学賞表彰制度制定
02.13	スポーツ賞表彰制度制定
03.14	市立和歌山商業高等学校にパーソナル・コンピュータ導入
04.01	市立河南総合体育館開館
04.01	楠見西小学校開校（楠見小学校より分離）
59.02.19	第1回紀ノ川駅伝競走大会開催（平成6年度より廃止）
04.01	楠見東小学校・貴志南小学校・有功中学校開校（楠見小学校・貴志小学校・紀伊中学校より分離）
04.01	吹上小学校院内学級（日赤病院）開設
08.07	臨時教育審議会設置法案成立（国会）
10.28	市立市民温水プール開館
12.21	市民図書館移民資料室開室
60.04.01	義務教育の父母負担軽減3年計画で実施（3億円）
04.01	城北小学校院内学級（和医大病院）開設
11.01	市立博物館開館（郷土資料室の移設）
61.03.27	山口会館開館
04.01	貴志中学校開校（河西中学校より分離）
62.03.31	加太小学校大川分校廃止
04.01	機構改革に伴い、文化振興課、少年補導センター、少年自然の家、市史編さん室が教育委員会の所轄となる。
63.04.01	財団法人和歌山市文化体育振興事業団設立
04.01	市立和歌山商業高等学校に国際情報科設置
平成 2.04.01	体育館3館と市民温水プールを財団法人和歌山市文化体育振興事業団に運営委託
04.01	ことばの教室開設（楠見小）
10.13	第3回全国スポーツ・レクリエーション祭開催
3.04.01	機構改革に伴い、教育総務部・教育文化部の2部を設置 学校保健課・社会体育課・生涯学習課を新たに設置 保健体育課を廃止
09.25	和歌山市東部コミュニティセンター開館

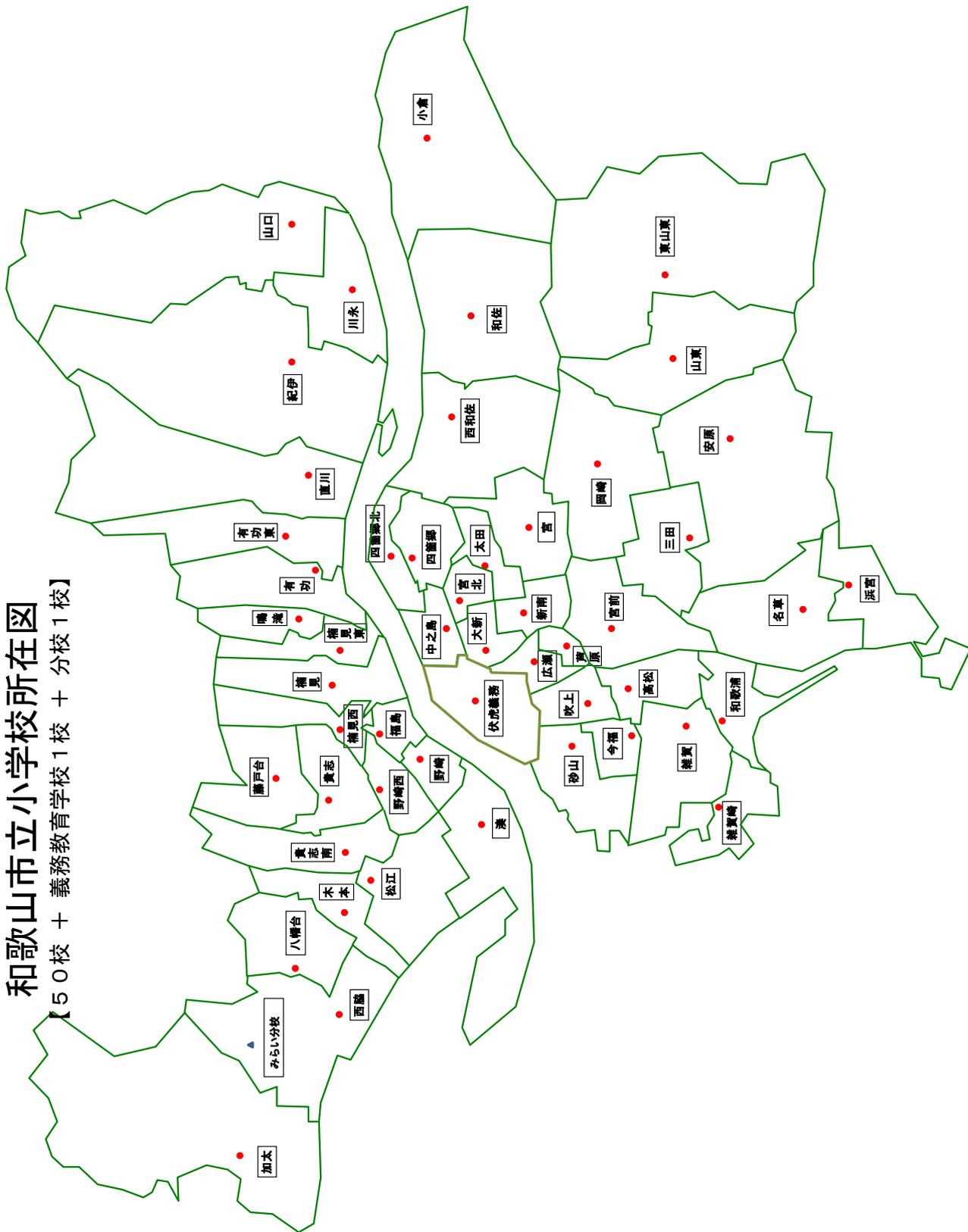
平成 4.04.01	山口小学校滝畑分校休校
09.01	学校週5日制（月1回）実施
5.04.01	市史編さん完了により、市史編さん室廃止
04.01	西和中学校院内学級（日赤病院）開設
04.01	有功東小学校開校（有功小学校より分離）
04.27	木本小学校院内学級（労災病院）開設
6.04.01	和歌山市中部コミュニティセンター開館
10.01	少年補導センターを少年センターに改称
7.04.01	学校週5日制（月2回）実施
04.01	和歌山市河南コミュニティセンター開館
9.04.01	学校保健課と社会体育課を統合し保健体育課を設置
06.08	第2回全国アウトドアスポーツフェア開催
10.04.30	伏虎中学校院内学級（和医大病院）開設
07.24	第1回C.I.O.F.F.アジアこどもフェスティバル開催
11.03.31	和医大病院移転に伴い、城北小・伏虎中の両院内学級を閉鎖
04.01	名草小学校、明和中学校院内学級（和医大病院）開設
09.01	全中学校に教育用パソコン導入
12.04.01	機構改革に伴い、18課22班体制から22室26班へ
04.01	公立3幼稚園（湊・西和佐・雑賀崎）で3歳児保育開始
04.15	和歌山市河西コミュニティセンター開館
08.15	和歌山市教育委員会会議規則、和歌山市教育委員会会議傍聴人規則を全面改正
13.03.24	ドライ方式を採用し、新しい学校給食第一共同調理場が完成
04.01	公立幼稚園3歳児保育を14園に拡大
04.01	和歌山市文化・スポーツ住金基金条例の廃止
04.15	和歌山市河北コミュニティセンター開館
09.01	全小学校に教育用パソコン導入
10.28	第1回JAZZマラソンin和歌浦開催
14.03.31	和歌山市中部コミュニティセンター閉館
04.01	学校完全週5日制始まる
04.01	和歌山市立子ども支援センター開館
04.01	市立和歌山商業高等学校学科改編 商業科+国際情報科→総合ビジネス科、商業デザイン科→デザイン科
04.15	和歌山市中央コミュニティセンター開館
15.04.01	構造改革により22室26班から17課31班へ
07.23	和歌の浦アート・キューブ開館
16.03.01	紀伊幼稚園小豆島分園廃止
04.01	構造改革に伴い、青少年課が教育委員会の所管となる。 教育総務課（2班）と教育経理課（2班）を教育総務課（4班）に統合
17.03.02	和歌山市真舟美術振興基金条例制定
03.31	青年の家閉館
03.31	木本小学校院内学級（労災病院内）閉設

平成 17.04.～	市民図書館の開館時間を延長
04.01	機構改革に伴い、18課32班から18課25班へ
11.27	市民図書館内に有吉佐和子文庫を開設
18.03.31	財団法人和歌山市文化体育振興事業団の廃止
03.31	大新幼稚園、西山東幼稚園廃止
04.01	指定管理者制度の導入（コミュニティセンター等を財団法人和歌山市都市整備公社に指定）
04.01	中学校の2学期制の開始
04.01	雑賀小・西浜中学校愛徳分校を廃止し、県立学校へ移管
10.11	市立和歌山商業高等学校全日制設置50周年記念式典
10.25	湊御殿（市指定文化財昭和42.2.14指定）が養翠園敷地内へ移築復元され、竣工式が行われる。
19.04.01	機構改革に伴い、教育総務部、学校教育部、生涯学習部の3部（15課25班）を編成
06.22	車駕之古址古墳公園開園式
20.04.01	機構改革に伴い、15課25班から15課26班へ
11.29	和歌山市教育発表会～「教育の日」制定に向けて～開催
21.04.01	和歌の浦アート・キューブの指定管理者として財団法人和歌山市都市整備公社を指定
04.01	虎伏学園の移転に伴い、併設の宮小学校虎伏分校・日進中学校虎伏分校が西脇小学校・西脇中学校のそれぞれの分校に移転し、みらい分校に改名
04.01	紀伊小学校小豆島分校休校
04.01	和歌山市立和歌山商業高等学校の全日制に普通科が設置されたことにより和歌山市立和歌山高等学校に改名
04.01	機構改革に伴い、15課26班から15課24班へ
08.21	和歌山市教育・学びあいの日及び和歌山市教育・学びあい月間制定
11.01	西和中学校新校舎が完成し、竣工式が行われる。
22.04.01	『和歌山市教育・学びあいの日』制定記念式典
07.21	機構改革に伴い、15課24班から13課26班へ
	旧中筋家住宅（国指定文化財昭和49.2.5指定）の保存修理工事が完了し、竣工式が行われる。
23.02.10	和歌山市立学校適正規模化の方針を定める。
04.01	藤戸台小学校開校
05.02	和歌山市北コミュニティセンター開館（和歌山市さんさんセンター紀の川内）
24.04.01	機構改革に伴い、13課26班から12課26班へ
	教育総務課を教育政策課へ改称
	中学校の2学期制を3学期制へ移行
10.01	市立6中学校において選択制デリバリー給食を開始
25.03.	和歌山市子ども読書活動推進計画策定
04.01	機構改革に伴い、12課26班から12課27班へ
10.01	市立中学校選択制デリバリー給食導入校 6校から12校へ
26.04.01	市民図書館の祝日開館を開始
07.05	和歌山市立つつじが丘テニスコート開館
07.14	少年センターが児童女性会館から和歌山市七番丁ワイチ産業ビルへ移転
10.01	市立中学校選択制デリバリー給食導入校 12校から16校へ
27.03.31	山口小学校滝畑分校廃止

平成 27.10.31	和歌山市立市民テニスコート閉場
12.	和歌山市教育振興基本計画策定
28.04.01	機構改革に伴い、12課27班から12課28班へ
08.01	少年自然の家閉所
12.15	和歌山市家庭教育支援条例制定
29.03.31	本町小学校、雄湊小学校、城北小学校、伏虎中学校の廃止
03.31	紀伊小学校小豆島分校廃止
04.01	伏虎義務教育学校開校
05.01	和歌山市民図書館西分館開館（和歌山市河西ほほえみセンター内）
05.17	和歌山市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則制定
12.20	和歌山市民図書館・西分館の指定管理者を指定
30.04.01	安原小学校吉原分校休校
04.01	機構改革に伴い、2部10課25班へ 「教育総務部」と「生涯学習部」を統合し、「教育学習部」に名称変更 「文化に関すること」「スポーツに関すること（学校における体育に関するものを除く）」 を市長事務局へ移管 青少年国際交流施設準備事務所を学校教育課から青少年課へ移管
05.28	和歌山市南コミュニティセンター開館
12.16	和歌山市立青少年国際交流センター開館
31.03.	第2次和歌山市教育振興基本計画策定
04.01	機構改革に伴い、10課25班から10課24班へ 「文化財の保護に関すること」を市長事務局に移管
令和 1.08.31	和歌山市民図書館（和歌山市湊本町3丁目1番地）が閉館
10.～	国制度により、公立幼稚園の利用料が無償化される。
12.19	和歌山市民図書館（屏風丁17番地）が一部開館し、指定管理者による運営が開始 機構改革に伴い、「市民図書館」を廃止し、「読書活動推進課」を新設 10課24班から10課21班へ
2.03.31	芦原幼稚園、本町幼稚園廃止（市長事務局 芦原こども園、本町こども園に移行）
04.01	機構改革に伴い、10課21班から10課19班へ 「博物館に関すること」を市長事務局に移管
06.05	和歌山市民図書館（屏風丁17番地）が全部開館
3.03.	第二次和歌山市子供読書活動推進計画策定
04.01	機構改革に伴い、学校教育課・教職員課を学校支援課・学校教育課に再編
4.04.01	小規模特認校転入学開始（加太小学校・加太中学校）
5.03.31	安原小学校吉原分校廃止
04.28	和歌山市南コミュニティセンター図書室開室
6.03.	第3次和歌山市教育振興基本計画策定

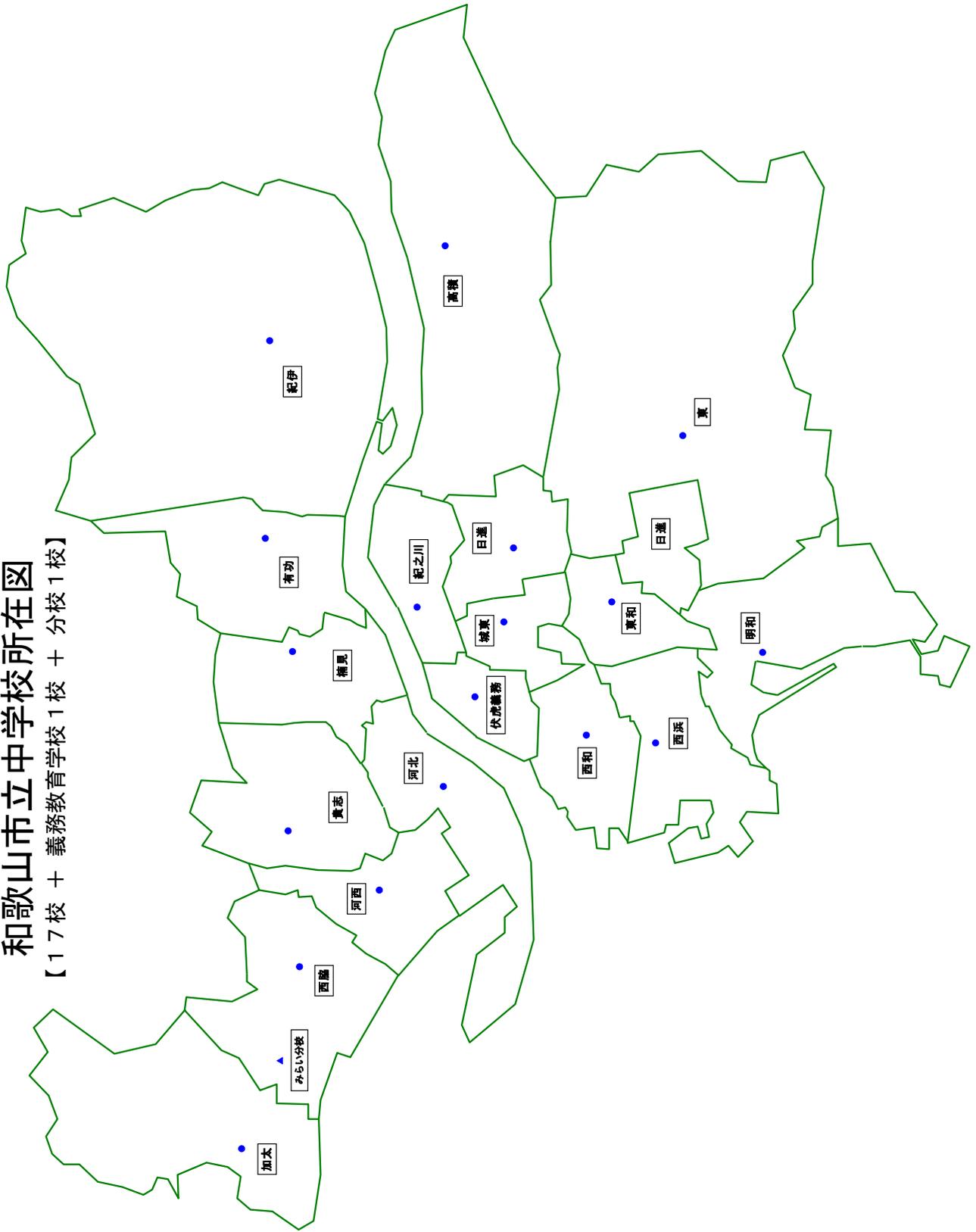
和歌山市立小学校所在図

【50校 + 義務教育学校1校 + 分校1校】



和歌山市立中学校所在図

【17校 + 義務教育学校1校 + 分校1校】



和歌山市の教育

(令和6年度版)

令和6年8月発行

和歌山市教育委員会 教育学習部 教育政策課

和歌山市七番丁23番地

TEL 073-435-1135